

Microsoft Deployment Toolkitを使用したOSイメージ展開

株式会社 日本HP

サービス・ソリューション事業本部

技術本部 クライアント技術部

2016年6月



本書の取り扱いについて

- 本書は、株式会社 日本HPが販売する製品を検討されているお客様が実際のご利用方法に合わせた設定を行う際に役立つ手順の一例を示すものです。いかなる場合においても本書の通りになる事を保証するものではありません。
- 本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP製品およびサービスに対する保証については、該当製品およびサービス保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して責任を負いかねますのでご了承ください。
- この文書の著作権は株式会社 日本HPに帰属します。株式会社 日本HPの許可なく一部または全体の複製・転載・編集等を行うことや、許可されていない第三者への開示等の行為全てを禁止します。
- 本文中使用される企業名、製品名、商標などはそれを保持する企業・団体に帰属します。

はじめに

本資料では、Microsoft社が提供するMicrosoft Deployment Toolkitを使用して対応するHPのBusiness PCにWindows 10の新規OSイメージを展開する手順を紹介します。

Microsoft Deployment ToolkitとHP Driver Packを使用する事でOSイメージへのデバイスドライバーの追加とOSイメージの展開が簡単にできるようになります。

Windows 7/8/8.1も同様の手順でOSイメージを展開する事ができますのでこれらのOSをお使いの場合にも参考情報としてお使い頂けます。

Microsoft Deployment Toolkitを使用したWindows 10イメージ展開

1. システム要件
2. インストール
3. 展開用共有フォルダの作成
4. 展開用OSイメージのインポート
5. 追加インストールするアプリケーションの定義
6. デバイスドライバーのインポート
7. ドライバー追加用プロファイルの作成
8. 展開タスクシーケンスの作成
9. 展開用共有フォルダの構成
10. Windows展開サービスの構成
11. Windows展開サービスを使用したWindows 10イメージの展開

1. システム要件

本資料は以下のシステム構成での検証を基に作成しています。

- Windows Server 2008 R2（以上）
 - Active Directory ドメイン サービス
 - DHCP サーバー
 - DNS サーバー
 - Windows 展開 サービス
- Microsoft Deployment Toolkit(MDT) 2013 Update 2
<https://www.microsoft.com/en-us/download/details.aspx?id=50407>
- Windows ADK for Windows 10
[https://msdn.microsoft.com/en-us/windows/hardware/dn913721\(v=vs8.5\).aspx#winADK](https://msdn.microsoft.com/en-us/windows/hardware/dn913721(v=vs8.5).aspx#winADK)
- HP Elite Desk 800 G2 SF / HP ProDesk 600 G2 SF
- Windows 10 64-bit
- HP Client Windows PE 10 x64 Driver Pack
<http://ftp.hp.com/pub/caps-software/cmit/softpack/WinPE10.html>
- HP Driver Packs (64-bit)
http://ftp.hp.com/pub/caps-software/cmit/HP_Driverpack_Matrix_x64.html

1. システム要件

Windows 10 64 bit [用HP Driver Packに対応する機種](#)

ノートブック・タブレット	ワークステーション	デスクトップ
HP Elite x2 1012 G1 Tablet HP Elite x2 1012 G1 Tablet with Travel Keyboard	HP Z240 Small Form Factor Workstation HP Z240 Tower Workstation	HP EliteDesk 705 G2 Desktop Mini PC HP EliteDesk 705 G2 Microtower PC HP EliteDesk 705 G2 Small Form Factor PC HP EliteOne 705 G2 23-inch Touch All-in-One PC
HP EliteBook 1040 G3 Notebook PC	HP Z440 Workstation HP Z640 Workstation HP Z840 Workstation	
HP EliteBook 820 G3 Notebook PC HP EliteBook 840 G3 Notebook PC HP EliteBook 850 G3 Notebook PC HP ZBook 15u G3 Mobile Workstation	HP Z1 G2 Workstation	HP EliteDesk 800 35W G2 Desktop Mini PC HP EliteDesk 800 65W G2 Desktop Mini PC HP EliteDesk 800 G2 Small Form Factor PC HP EliteDesk 800 G2 Tower PC HP EliteOne 800 G2 23-inch Non-Touch All-in-One PC HP EliteOne 800 G2 23-inch Touch All-in-One PC HP ProDesk 600 G2 Desktop Mini PC HP ProDesk 600 G2 Microtower PC HP ProDesk 600 G2 Small Form Factor PC HP ProOne 600 G2 21.5-inch Non-Touch All-in-One PC HP ProOne 600 G2 21.5-inch Touch All-in-One PC
HP EliteBook Folio G1 Notebook PC	HP Z230 Small Form Factor Workstation HP Z230 Tower Workstation	
HP EliteBook 725 G3 Notebook PC HP EliteBook 745 G3 Notebook PC HP EliteBook 755 G3 Notebook PC	HP ZBook 15 G3 Mobile Workstation HP ZBook 17 G3 Mobile Workstation	
HP ProBook 640 G2 Notebook PC HP ProBook 645 G2 Notebook PC HP ProBook 650 G2 Notebook PC HP ProBook 655 G2 Notebook PC	HP ZBook Studio G3 Mobile Workstation	

2.インストール

インストール先サーバーの前提条件

- OS
 - Windows Server 2008 R2
 - Active Directory ドメインに参加していること
- インストールする役割・機能
 - Active Directory ドメイン サービス
 - DHCPサーバー
 - DNSサーバー
 - Windows 展開サービス
 - .NET Framework 3.5.1の機能

※以降の手順では上記のOSおよび役割・機能はインストール済みである事を前提とします。
- 追加インストールするソフトウェア
 - Windows ADK for Windows 10
 - Microsoft Deployment Toolkit(MDT) 2013 Update 2

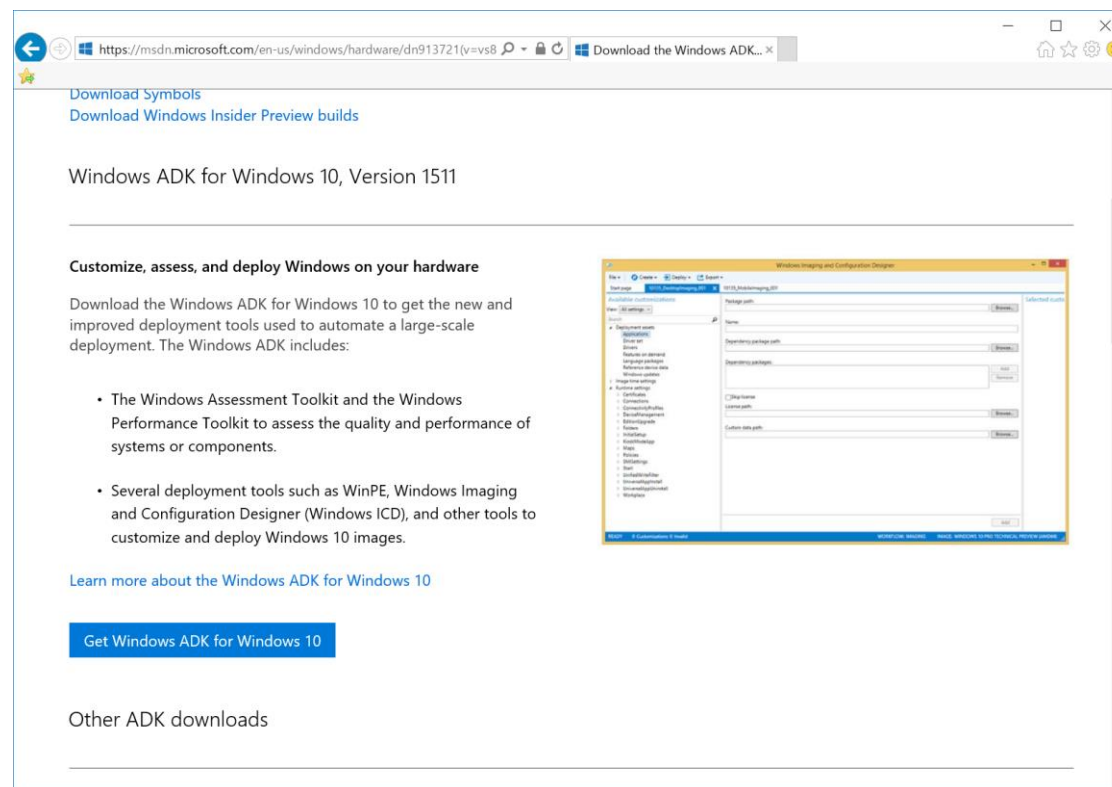
2.インストール

Windows ADK for Windows 10のダウンロード

1. インターネット接続可能なPCから以下のURLにアクセスします。

[https://msdn.microsoft.com/en-us/windows/hardware/dn913721\(v=vs8.5\).aspx#winADK](https://msdn.microsoft.com/en-us/windows/hardware/dn913721(v=vs8.5).aspx#winADK)

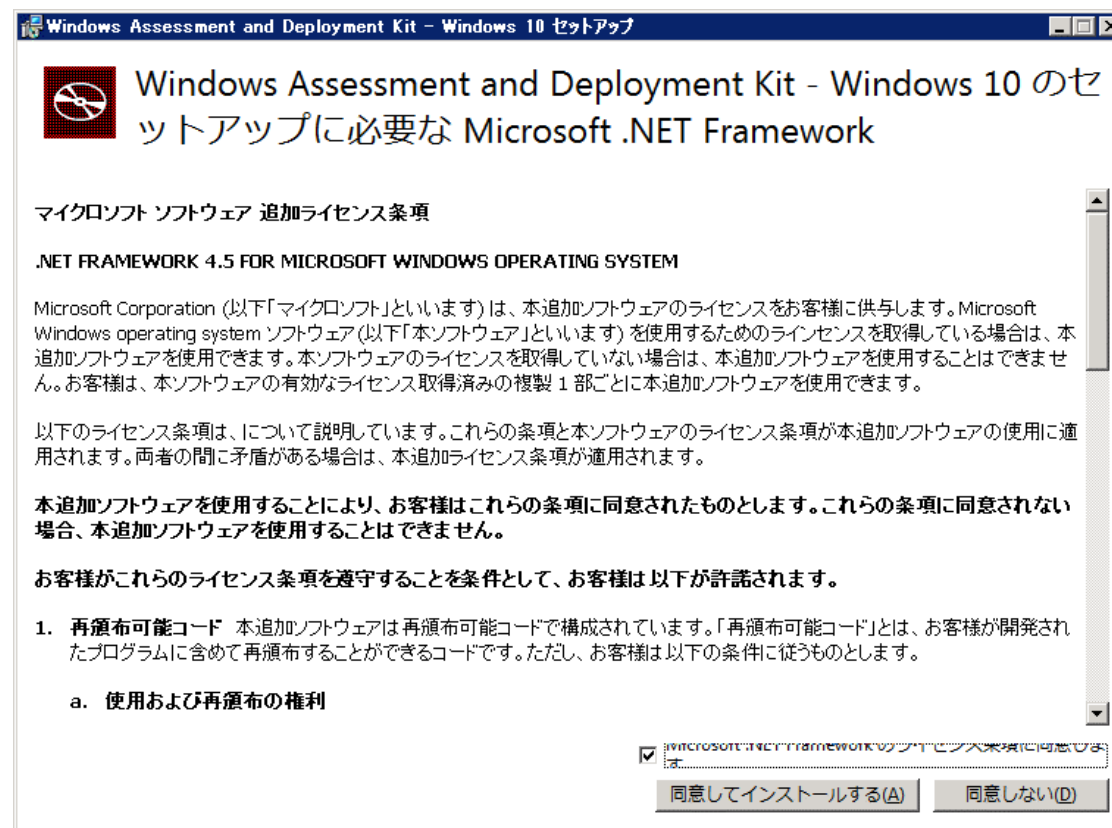
2. “Get Windows ADK for Windows 10”をクリックしてWindows ADK for Windows 10をダウンロードします。



2. インストール

Windows ADK for Windows 10のインストール

3. ダウンロードしたWindows ADK for Windows 10のインストーラ（adksetup.exe）をインストール先のサーバーにコピーして実行します。
4. ADKのセットアップに必要な.NET Framework 4.5のインストールのためのマイクロソフトソフトウェア追加ライセンス条項の画面が表示されたらライセンス条項に同意するための画面右下のチェックボックスをクリックしてチェックを付けてから、“同意してインストールする”をクリックします。
5. .NET Framework 4.5のインストールが開始されます。

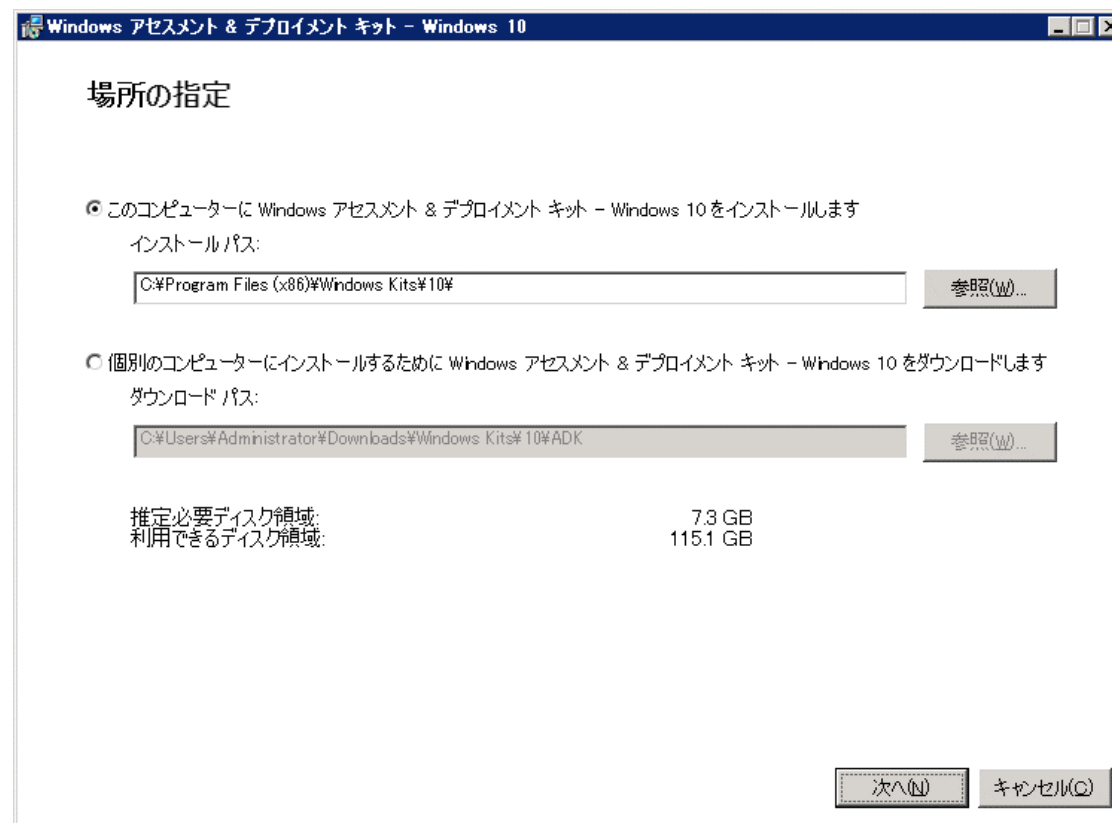


2. インストール

Windows ADK for Windows 10のインストール

6. .NET Framework 4.5のインストールが完了したら、再度adksetup.exeを実行します。
7. 場所の指定画面で、“このコンピューターに Windows アセスメント & デプロイメント キット – Windows 10をインストールします”が選択されている事を確認し、“次へ”をクリックします。

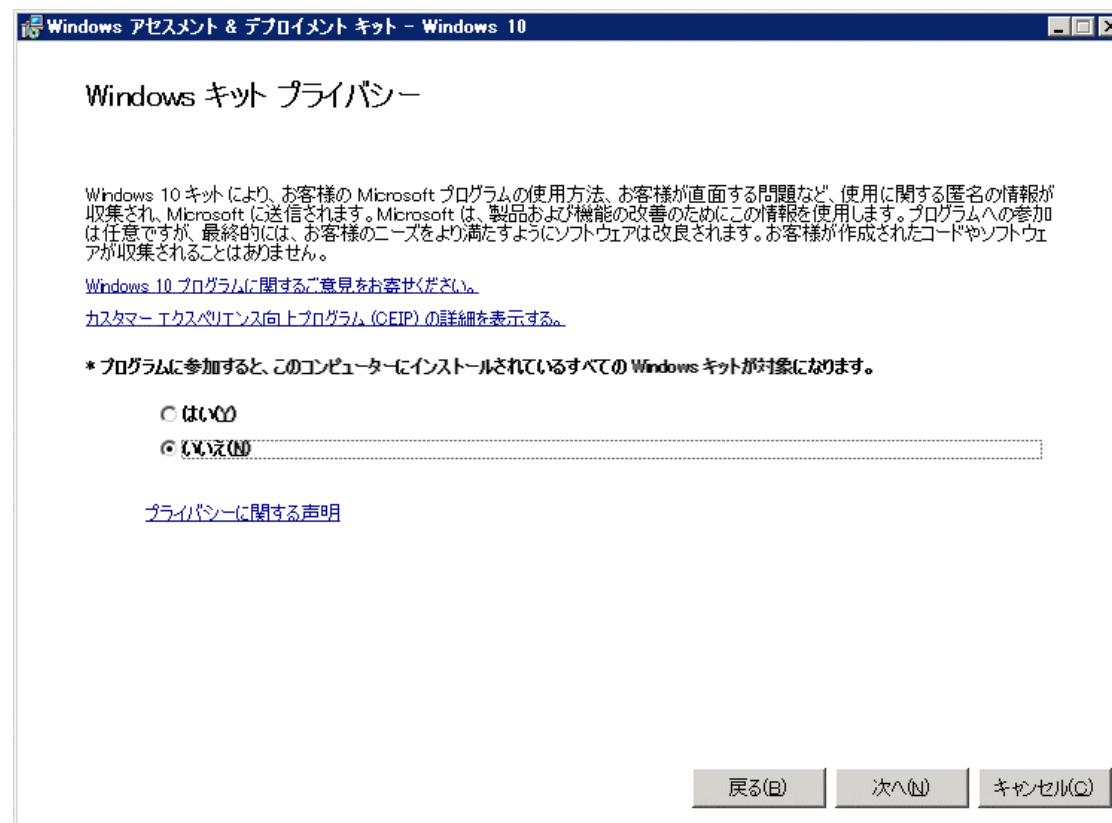
※インストールパスを変更したい場合はこの画面で変更します。



2.インストール

Windows ADK for Windows 10のインストール

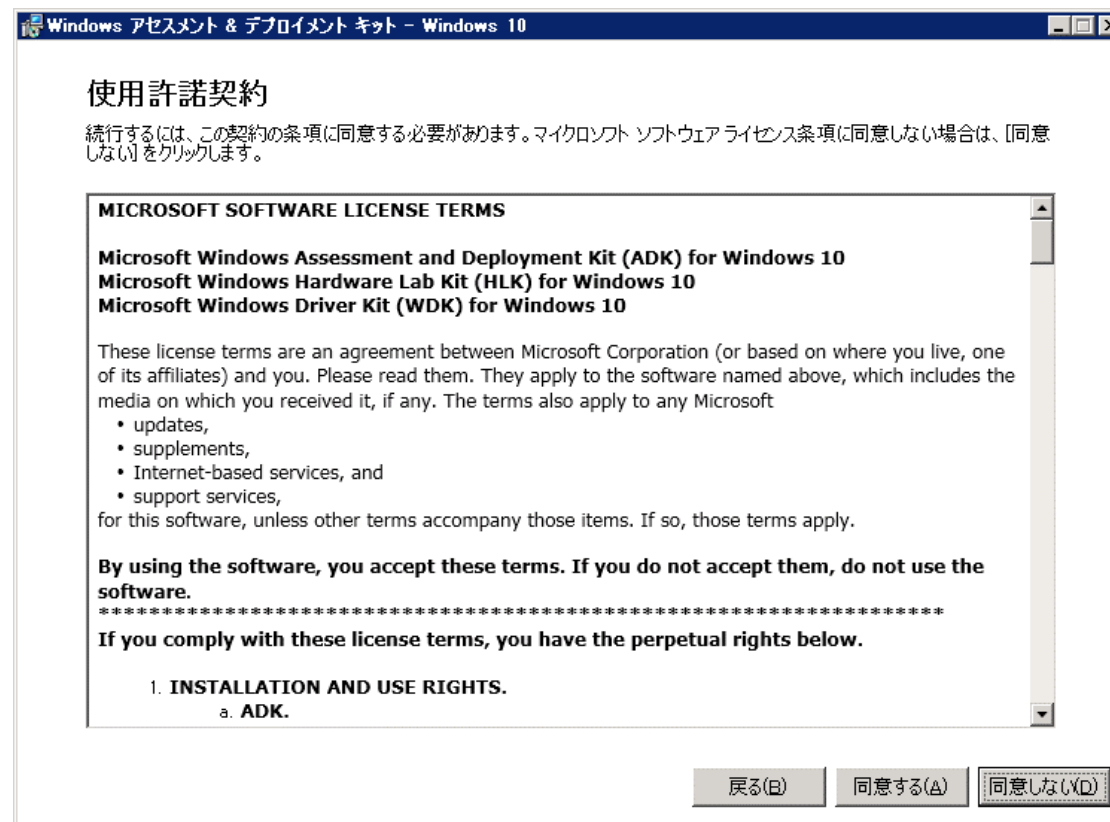
8. Windows キット プライバシー画面では匿名の情報の送信に対して、規定設定の“いいえ”のまま“次へ”をクリックします。



2.インストール

Windows ADK for Windows 10のインストール

9. 使用許諾契約画面で“同意する”をクリックします。



2.インストール

Windows ADK for Windows 10のインストール

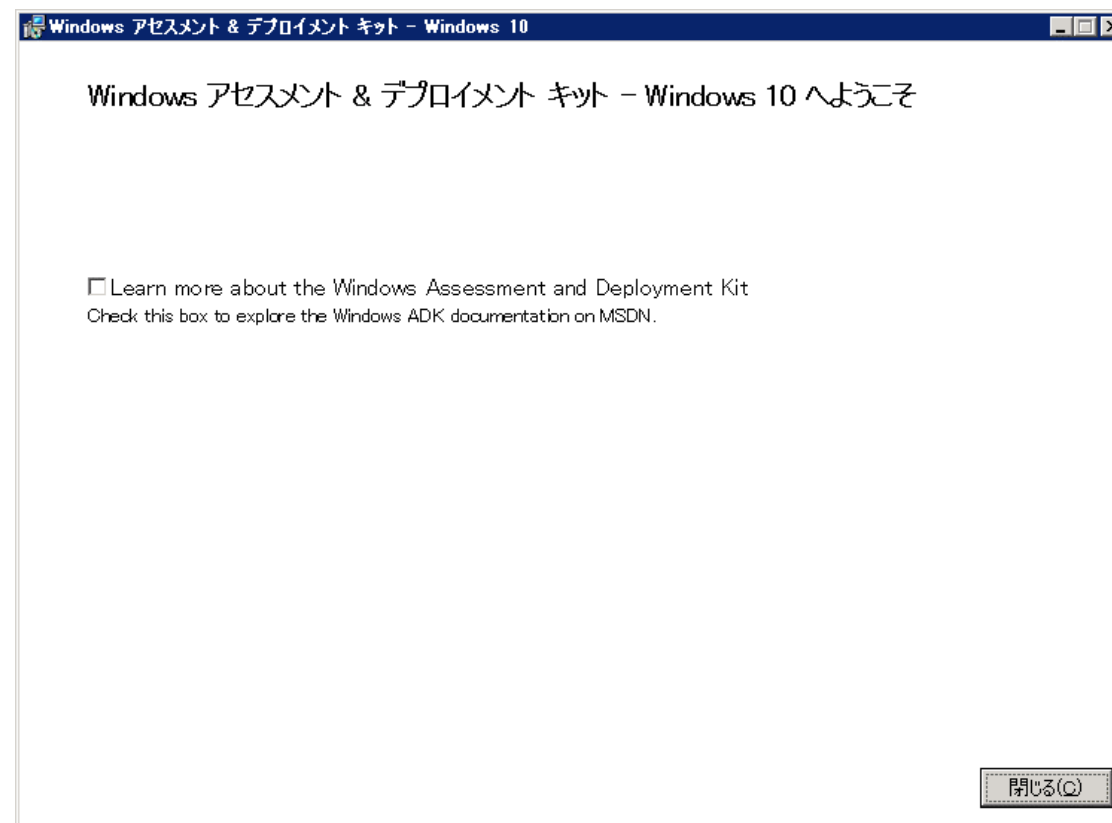
10. インストールを行う機能の選択画面では規定の選択のまま“インストール”をクリックします。
11. 機能のインストールが開始されます。



2. インストール

Windows ADK for Windows 10のインストール

12. インストールが完了するとWindows アセスメント & デプロイメント キット – Windows 10へようこそ画面が表示されますので、“閉じる”をクリックしてインストーラーを終了します。



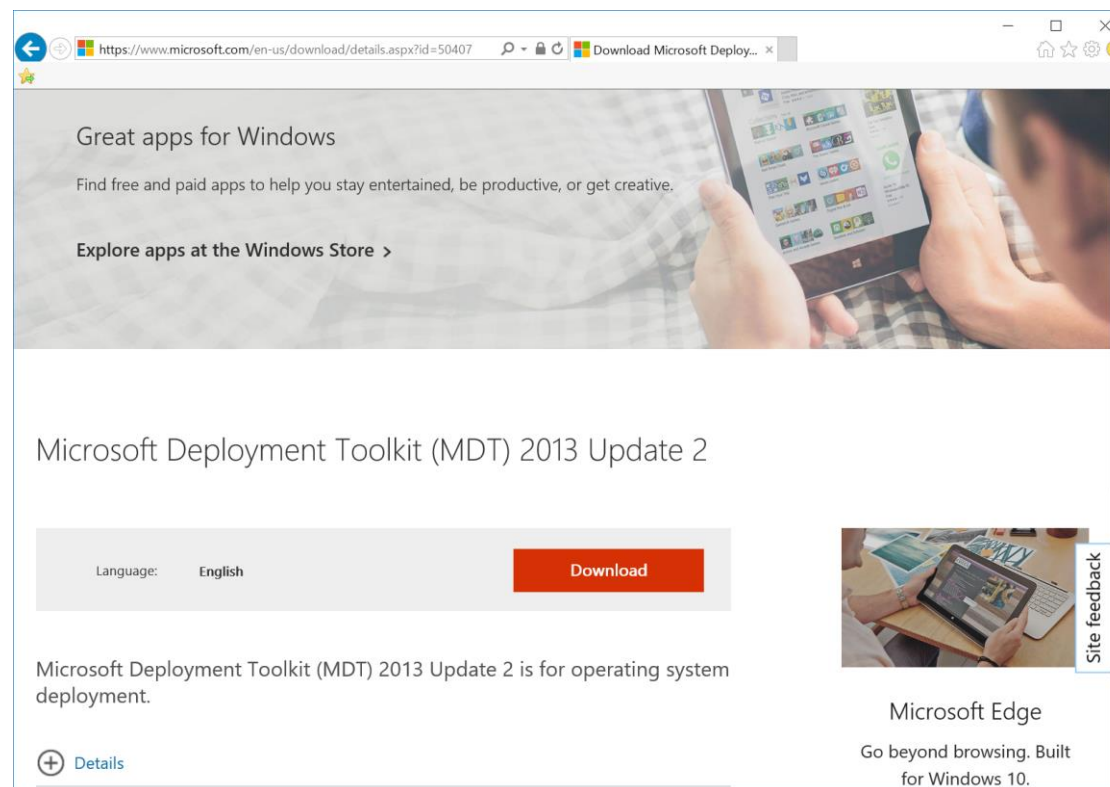
2.インストール

Microsoft Deployment Toolkit (MDT) 2013 Update 2のダウンロード

13. インターネット接続可能なPCから以下のURLにアクセスします。

<https://www.microsoft.com/en-us/download/details.aspx?id=50407>

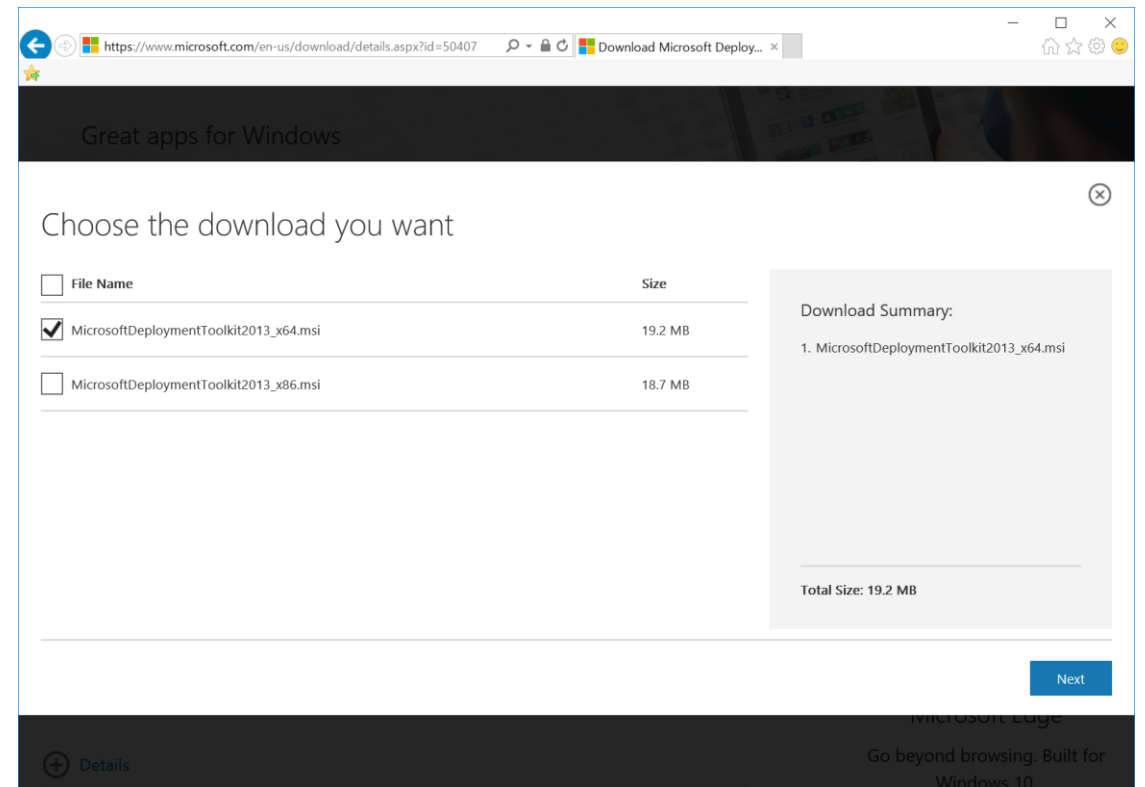
14. “Download”をクリックしてMDT 2013 Update 2をダウンロードします。



2.インストール

Microsoft Deployment Toolkit (MDT) 2013 Update 2のダウンロード

15. Choose the download you want画面で
“MicrosoftDeploymentToolkit2013_x64.msi”を選択し
て”Next“をクリックします。
16. 対象のファイルを保存します。



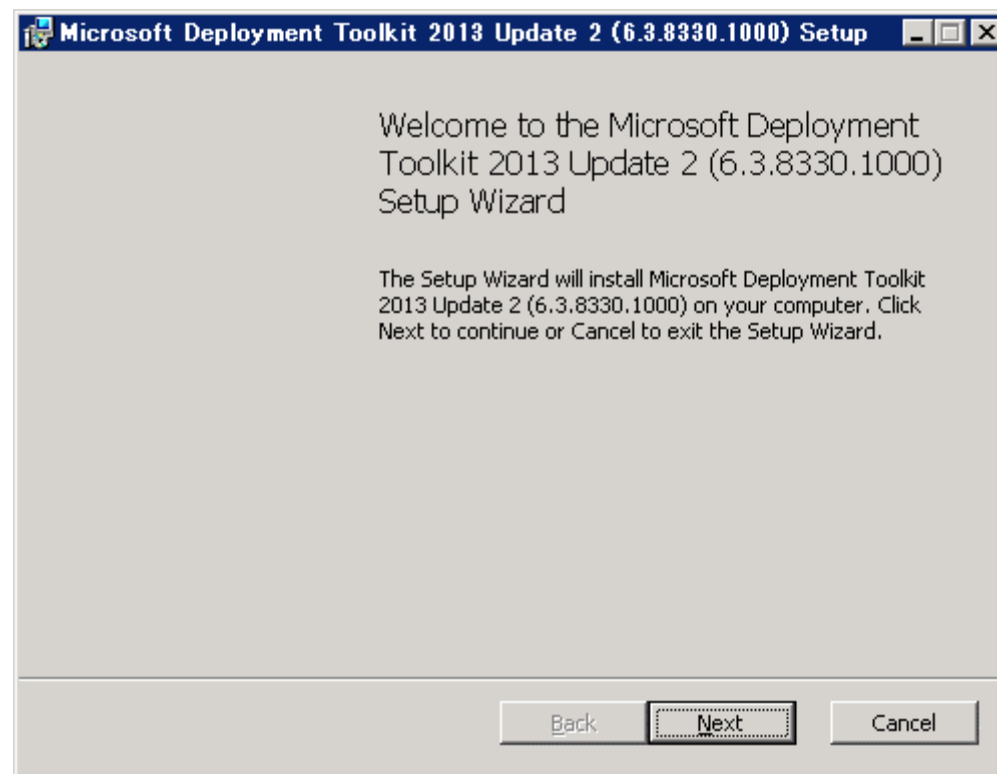
2.インストール

Microsoft Deployment Toolkit (MDT) 2013 Update 2のインストール

17. ダウンロードしたMDT 2013 Update 2のインストーラ（MicrosoftDeploymentToolkit2013_x64）をインストール先のサーバーにコピーして実行します。

※前提条件の.NET Framework 3.5.1の機能を有効にしておく必要があります。

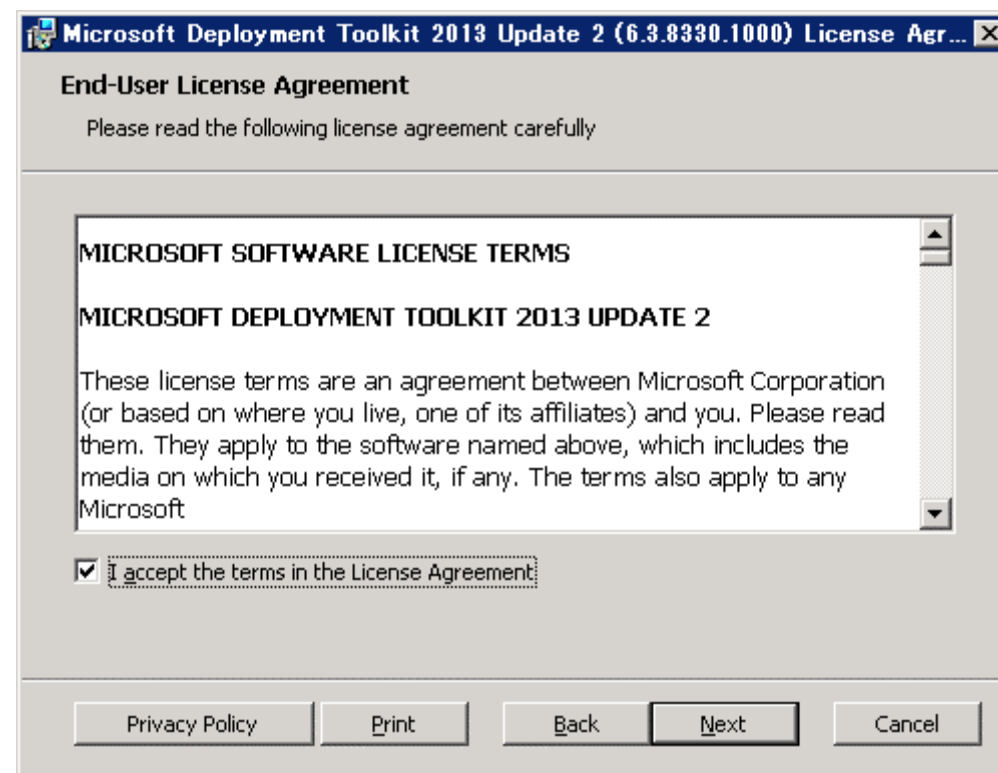
18. MDT 2013 Update 2のセットアップウィザードのWelcome画面で“Next”をクリックします。



2.インストール

Microsoft Deployment Toolkit (MDT) 2013 Update 2のインストール

19. End-User License Agreement画面で“I accept the terms in the License Agreement”のチェックボックスにチェックを付けてから“Next”をクリックします。

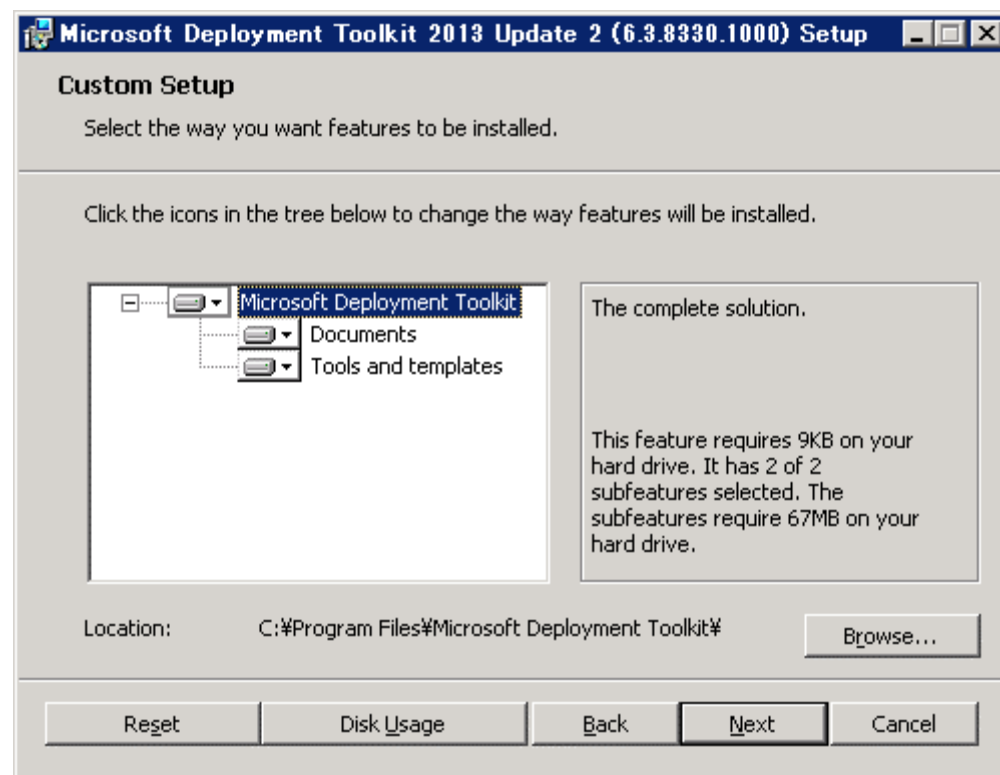


2.インストール

Microsoft Deployment Toolkit (MDT) 2013 Update 2のインストール

20. Custom Setup画面では規定の設定のまま“Next”をクリックします。

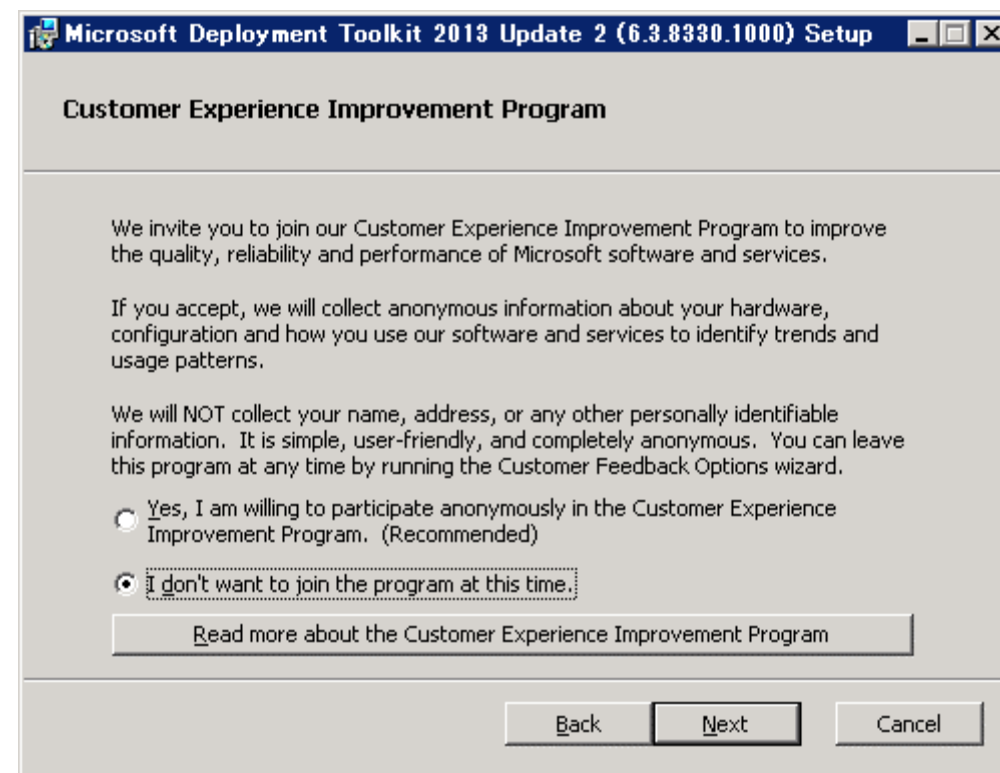
※インストールパスを変更したい場合はこの画面で変更します。



2.インストール

Microsoft Deployment Toolkit (MDT) 2013 Update 2のインストール

21. Customer Experience Improvement Program画面では規定の設定のまま“Next”をクリックします。

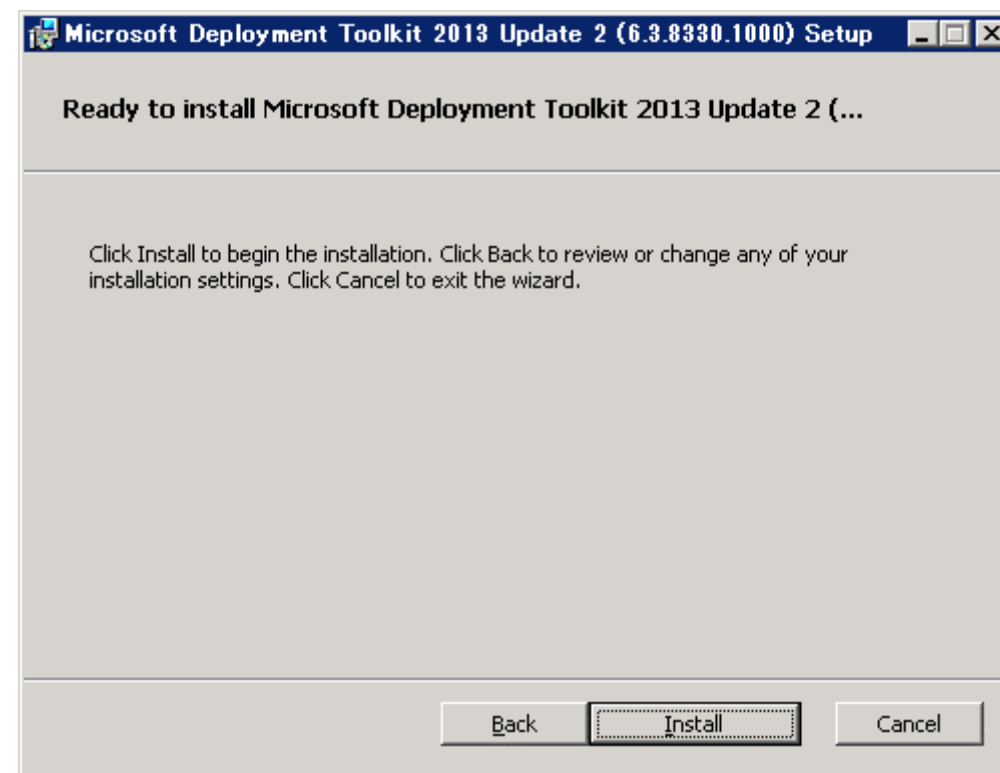


2.インストール

Microsoft Deployment Toolkit (MDT) 2013 Update 2のインストール

22. Ready to install Microsoft Deployment Toolkit 2013 Update 2画面で“Install”をクリックします。

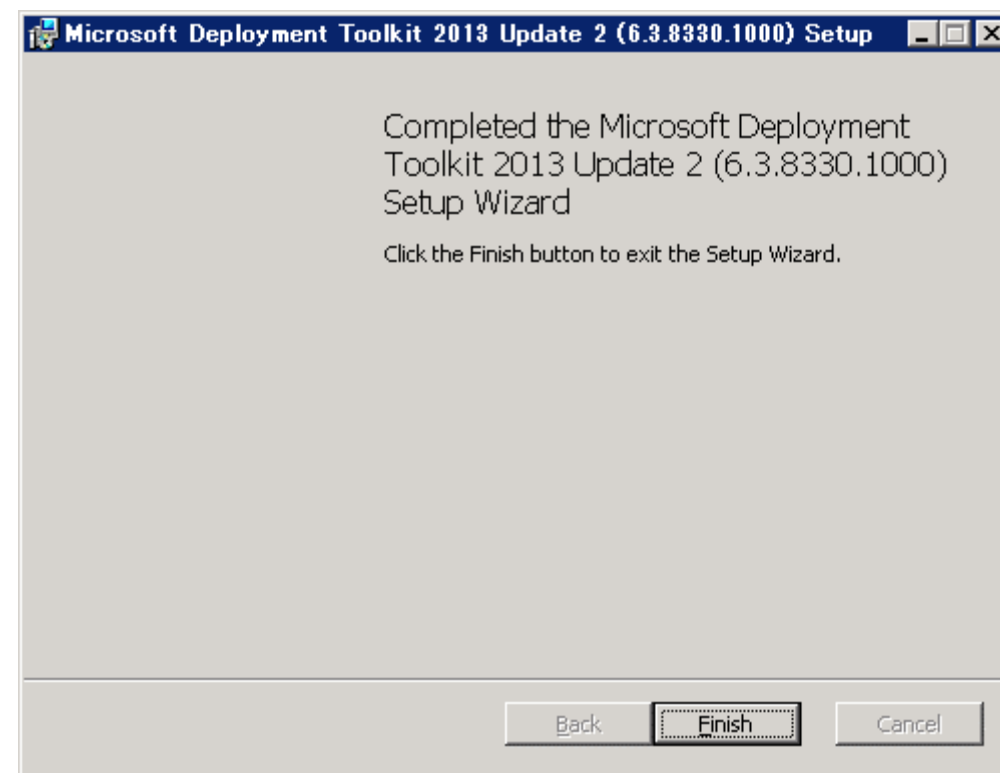
23. インストールが開始されます。



2.インストール

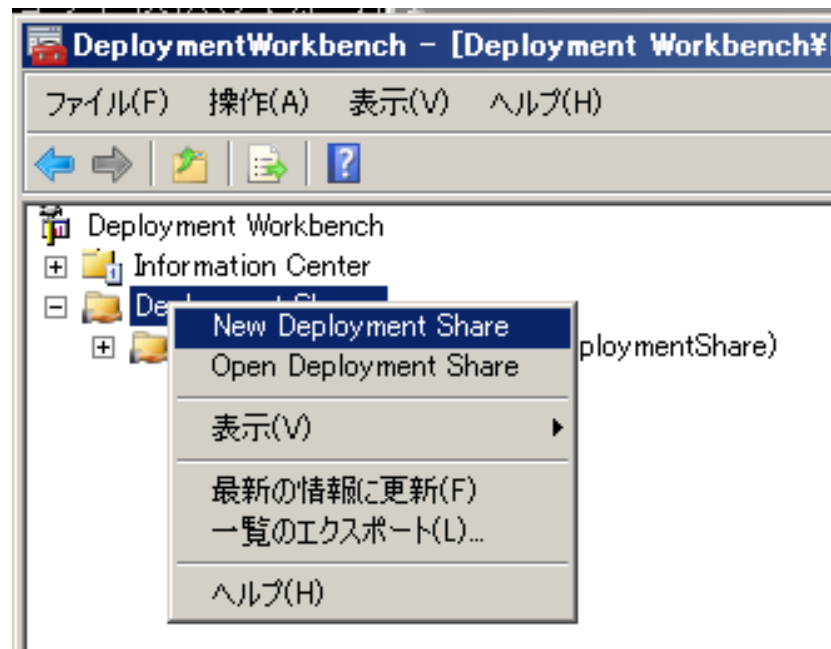
Microsoft Deployment Toolkit (MDT) 2013 Update 2のインストール

24. インストールが完了するとComplete画面が表示されますので“Finish”をクリックしてインストーラーを終了します。



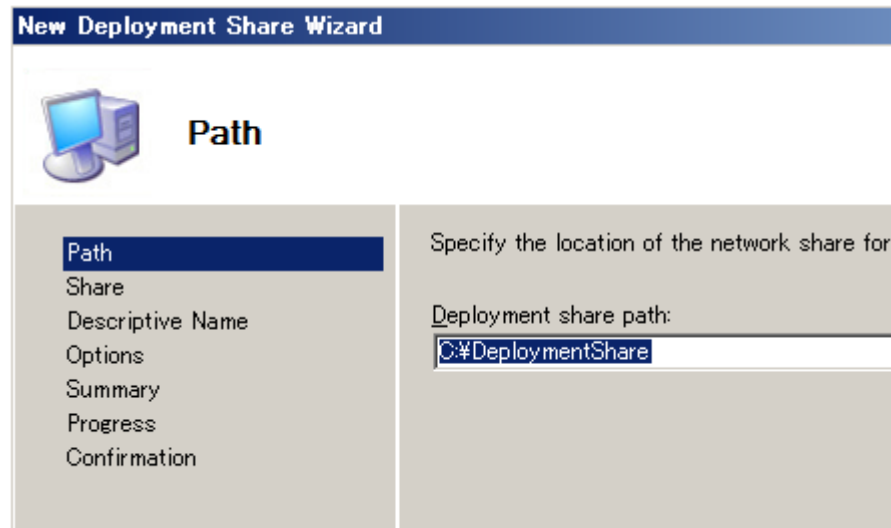
3.展開用共有フォルダの作成

1. Deployment Workbenchを起動します。
2. 管理コンソール左側の“Deployment Shares”を右クリックして、表示されたメニューから“New Deployment Share”を選択します。



3. 展開用共有フォルダの作成

3. New Deployment Share Wizardが起動しますので、Pathページで共有フォルダを作成する場所を指定してウィザードを次に進めます。デフォルト設定では“C:\DeploymentShare”が指定されます。



New Deployment Share Wizard

 Path

Specify the location of the network share for

Deployment share path:
C:\DeploymentShare

Path
Share
Descriptive Name
Options
Summary
Progress
Confirmation

4. Shareページでは、フォルダの共有名を指定してウィザードを次に進めます。デフォルト設定では“DeploymentShare\$”という名前で共有されます。この設定では名前の末尾に\$が付いているため隠し共有フォルダとなり、エクスプローラや“net view”コマンドからはこの共有フォルダは表示されません。



New Deployment Share Wizard

 Share

Specify the share name to be used with the specified local this computer, it must point to the path specified for this de

Share name:
DeploymentShare\$

Full path UNC path: %%HP-MDT%\DeploymentShare\$

Path
Share
Descriptive Name
Options
Summary
Progress
Confirmation

3. 展開用共有フォルダの作成

5. Descriptive Name ページでは、Deployment Workbench（管理コンソール）上での共有フォルダの表示名を指定してウィザードを次に進めます。デフォルト設定では“MDT Deployment Share”が指定されます。

New Deployment Share Wizard



Descriptive Name

Specify a descriptive name for the deployment share.

Deployment share description:

MDT Deployment Share

Path
Share
Descriptive Name
Options
Summary
Progress
Confirmation

6. Options ページでは、デフォルト設定のままウィザードを最後まで進めます。

New Deployment Share Wizard



Options

When performing deployments, the behavior of the Deployment Workbench wizard panes on or off. For those that are as appropriate.

☒ Ask if a computer backup should be performed.

☐ Ask for a product key.

☐ Ask to set the local Administrator password.

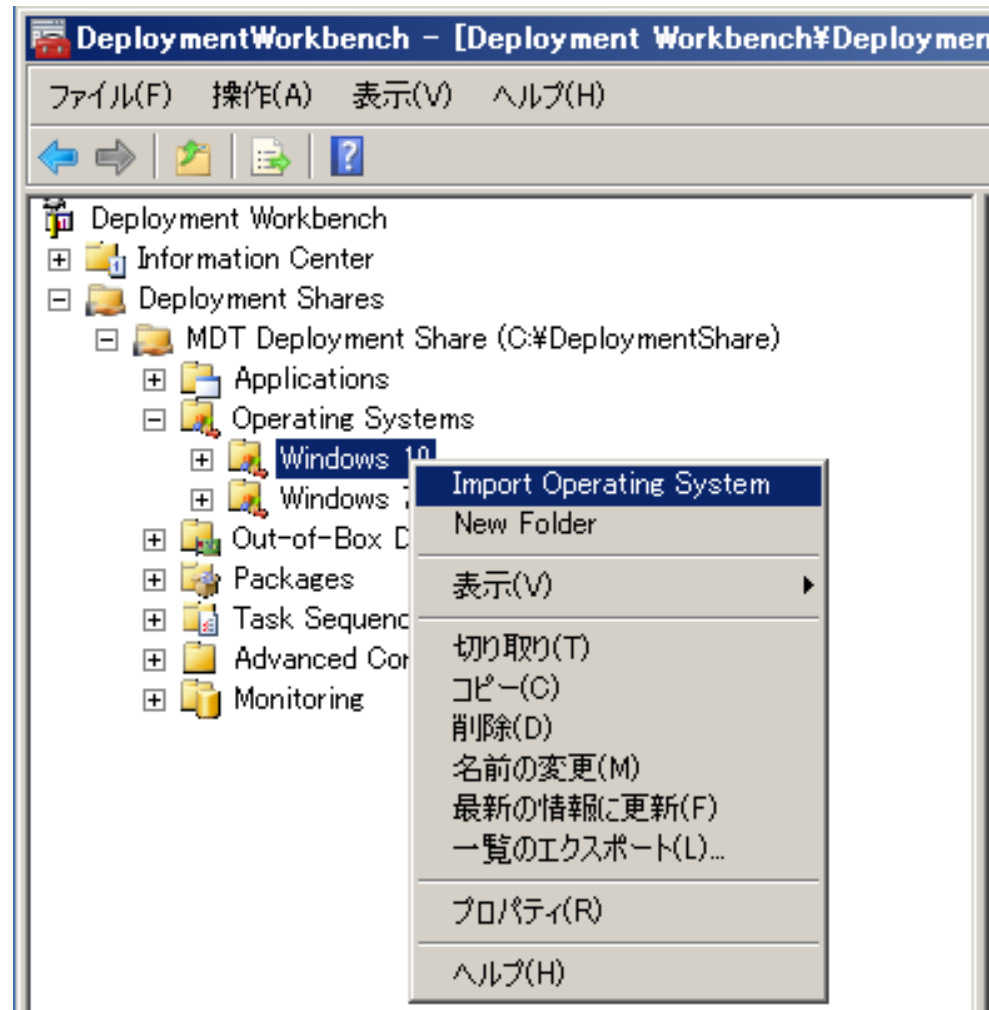
☒ Ask if an image should be captured.

☒ Ask if BitLocker should be enabled.

Path
Share
Descriptive Name
Options
Summary
Progress
Confirmation

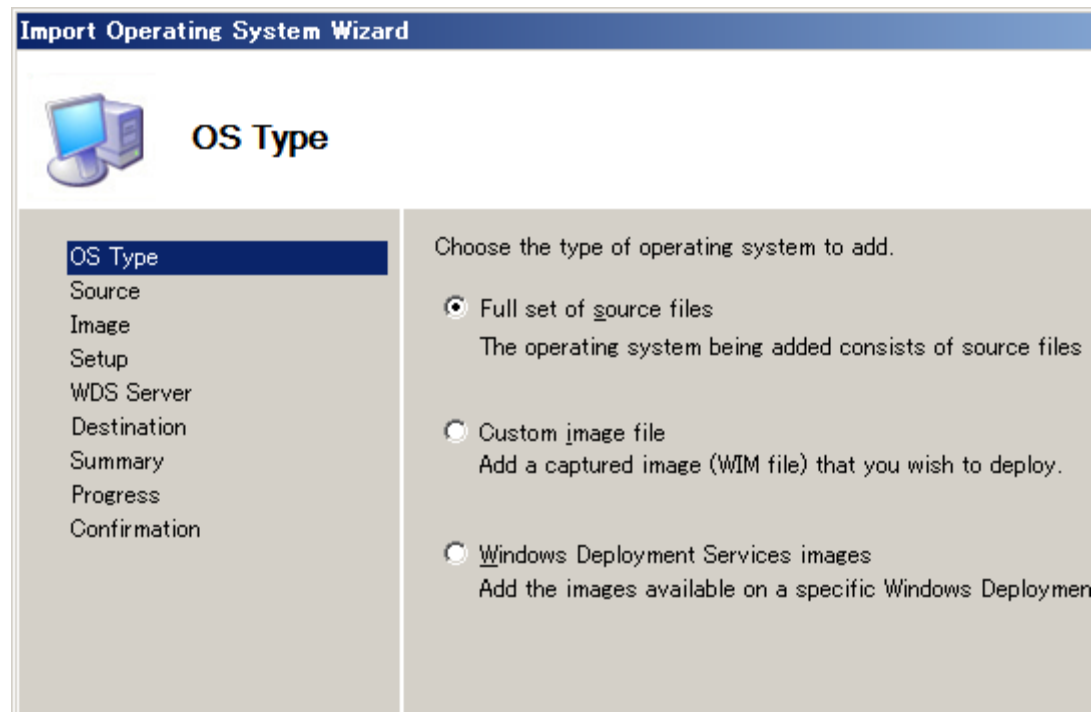
4.展開用OSイメージのインポート

1. 管理コンソール左側の“Operating Systems”を右クリックして表示されたメニューから“New Folder”を選択し“Windows 10”という名前のフォルダを作成します。
2. “Windows 10”フォルダを右クリックし、“Import Operating System”を選択します。



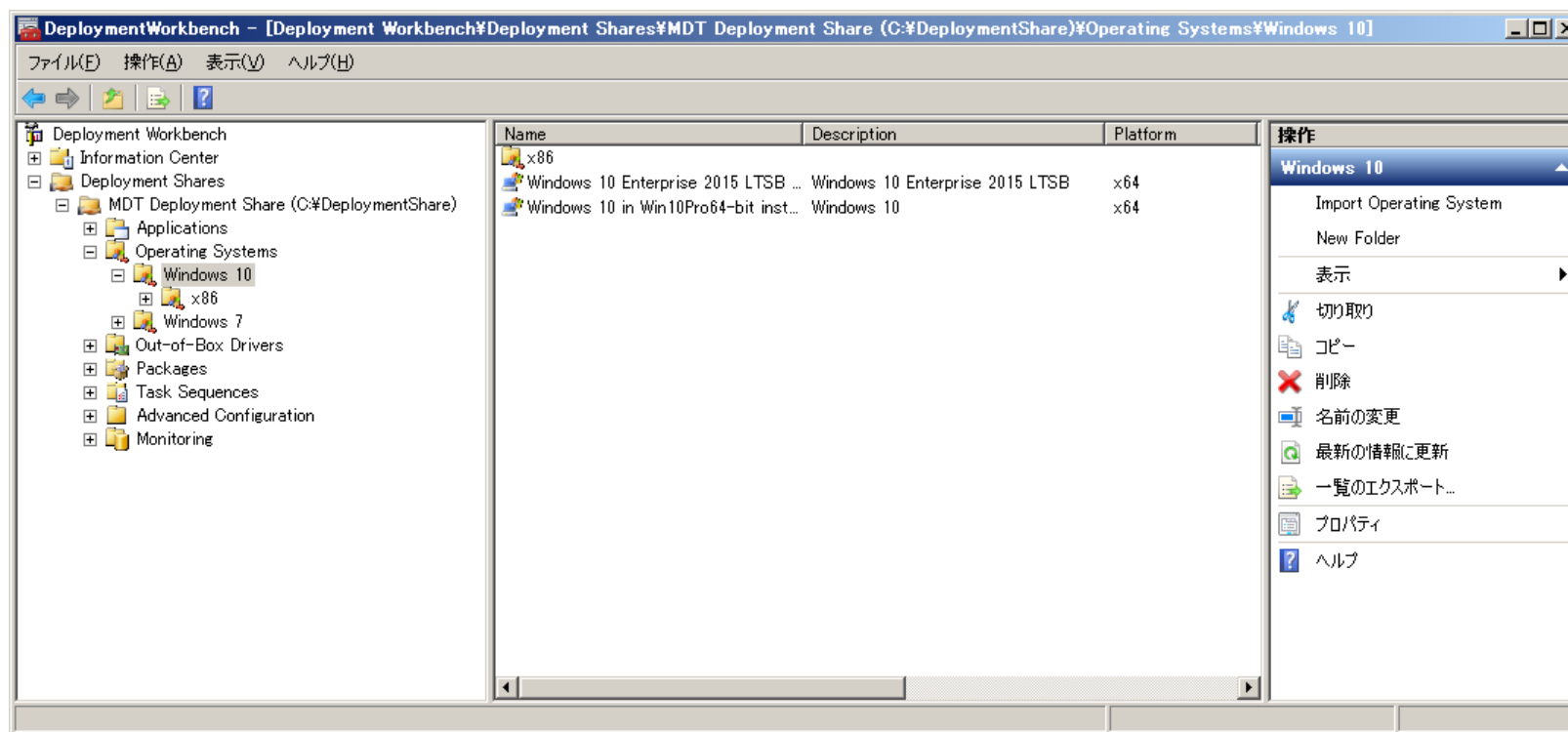
4.展開用OSイメージのインポート

3. Import Operating System WizardのOS TypeページでインポートするOSのイメージタイプを選択します。この手順ではWindows 10のインストールDVDを使用しますので、一番上の“Full set of source files”を選択します。
- Full set of source files
 - OSのインストールDVDからインポートする場合はこれを選択します。
 - Custom image file
 - WIMファイルをインポートする場合はこれを選択します。キャプチャしたイメージを利用する場合に使用します。
 - Windows Deployment Services images
 - Windows展開サービスのイメージをインポートする場合はこれを使用します。



4.展開用OSイメージのインポート

4. Sourceページでは、Windows 10のインストールDVDのドライブを選択します。
5. DestinationページではOSイメージを保存するフォルダの名前を指定します。
6. OSイメージのインポートが完了すると右側のペインに表示されます。



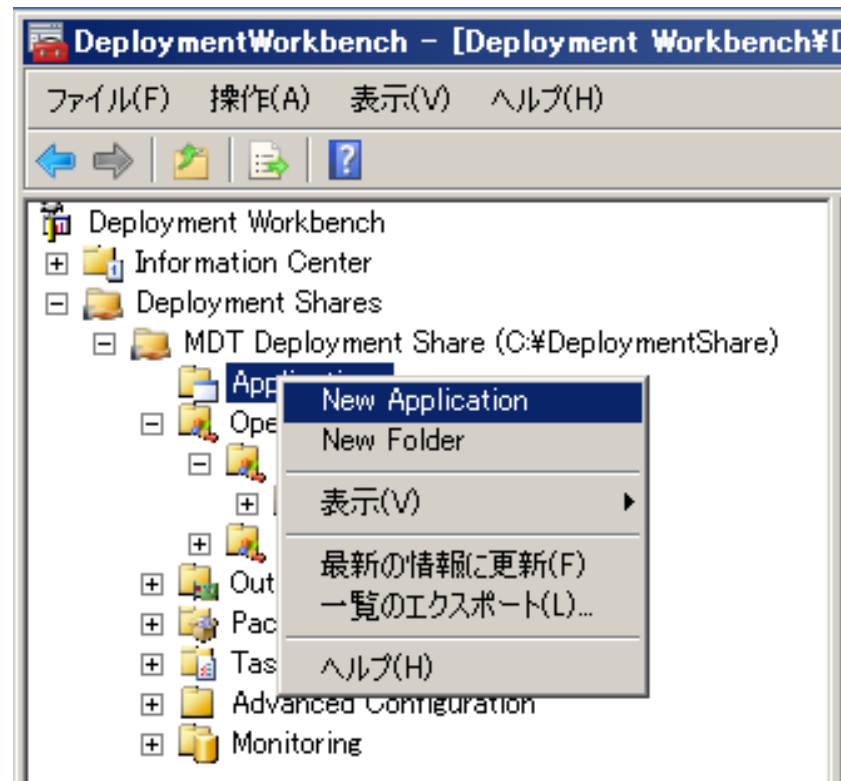
5.追加インストールするアプリケーションの定義

ここでは追加インストールするアプリケーションとして、インテルラピッド・ストレージ・テクノロジー・ドライバーおよび構成ソフトウェア（AHCI）を例に説明します。必要に応じてこれ以外のアプリケーションも追加してください。

1. 以下のURLからインテルラピッド・ストレージ・テクノロジー・ドライバーおよび構成ソフトウェア（AHCI）をダウンロードして展開します。

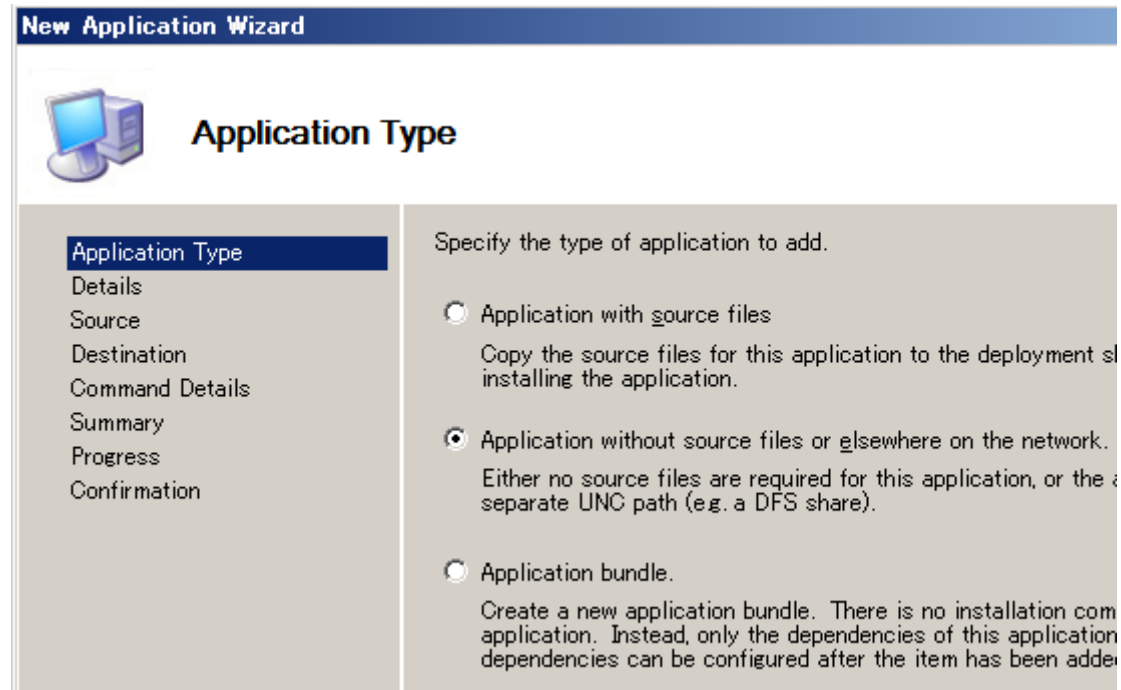
http://h20564.www2.hp.com/hpsc/swd/public/detail?sp4ts oid=7633279&swItemId=vc_154151_1&swEnvOid=4192#tab4

2. 展開先のC:\SWSetup\SP72775フォルダ全体を、展開用共有フォルダ内の“C:\DeploymentShare\Applications”にコピーします。
3. 管理コンソール左側の“Applications”を右クリックして表示されたメニューから“New Application”を選択します。



5.追加インストールするアプリケーションの定義

4. New Application WizardのApplication Typeページで追加インストールするアプリケーションのタイプOSのイメージタイプを選択します。この手順では共有フォルダにコピーしたソフトウェアをインストールしますので“Application without source files or elsewhere on the network”を選択します。



New Application Wizard

 **Application Type**

Application Type

Details
Source
Destination
Command Details
Summary
Progress
Confirmation

Specify the type of application to add.

☐ Application with source files
Copy the source files for this application to the deployment server when installing the application.

☒ Application without source files or elsewhere on the network.
Either no source files are required for this application, or the source files are located on a separate UNC path (e.g. a DFS share).

☐ Application bundle.
Create a new application bundle. There is no installation command for this application. Instead, only the dependencies of this application can be configured after the item has been added.

5.追加インストールするアプリケーションの定義

5. Detailsページで“Publisher(Optional)”（任意の名称）と“Application Name”（任意の名称）を入力します。

New Application Wizard

Details

Application Type
Details
Source
Destination
Command Details
Summary
Progress
Confirmation

Specify the details for this application.

Publisher: (Optional)
hp

Application Name:
Intel RST

Version: (Optional)

6. Command Detailsページで“Command line”と“Working directory”をそれぞれ以下の内容を入力し、ウィザードを最後まで進めます。

Command line:

[¥¥hp-mdt¥DeploymentShare\\$¥Applications¥SP72775¥SetupRST.exe](#)
-S

Working directory:

¥¥hp-mdt¥DeploymentShare\$¥Applications¥SP72775

New Application Wizard

Command Details

Application Type
Details
Source
Destination
Command Details
Summary
Progress
Confirmation

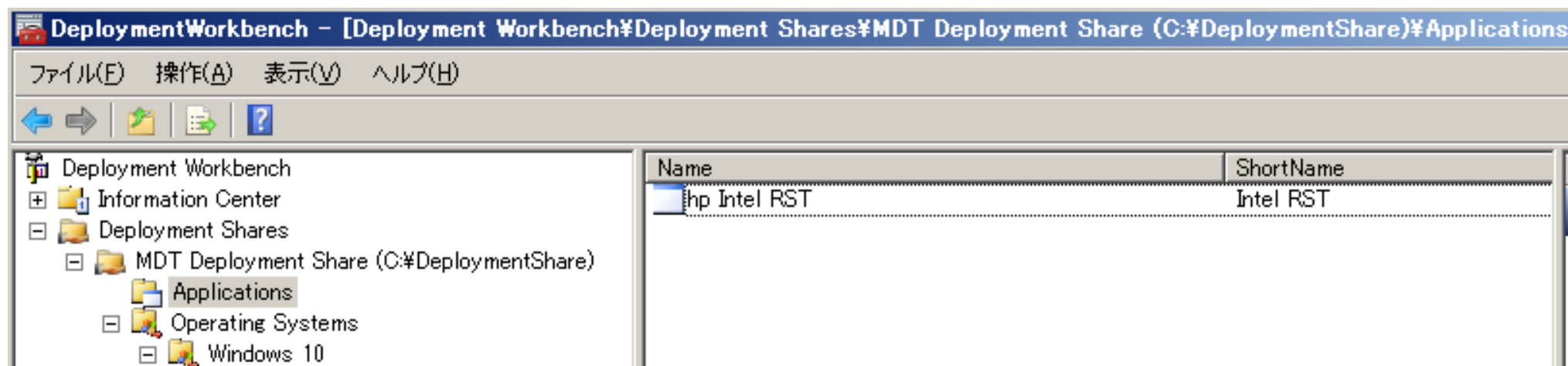
Specify the quiet install command line and working directory needed to install.

Command line:
¥¥hp-mdt¥DeploymentShare\$¥Applications¥SP72775¥SetupRST.exe -s

Working directory:
¥¥hp-mdt¥DeploymentShare\$¥Applications¥SP72775

5.追加インストールするアプリケーションの定義

7. アプリケーションの定義が完了すると右側のペインに表示されます。

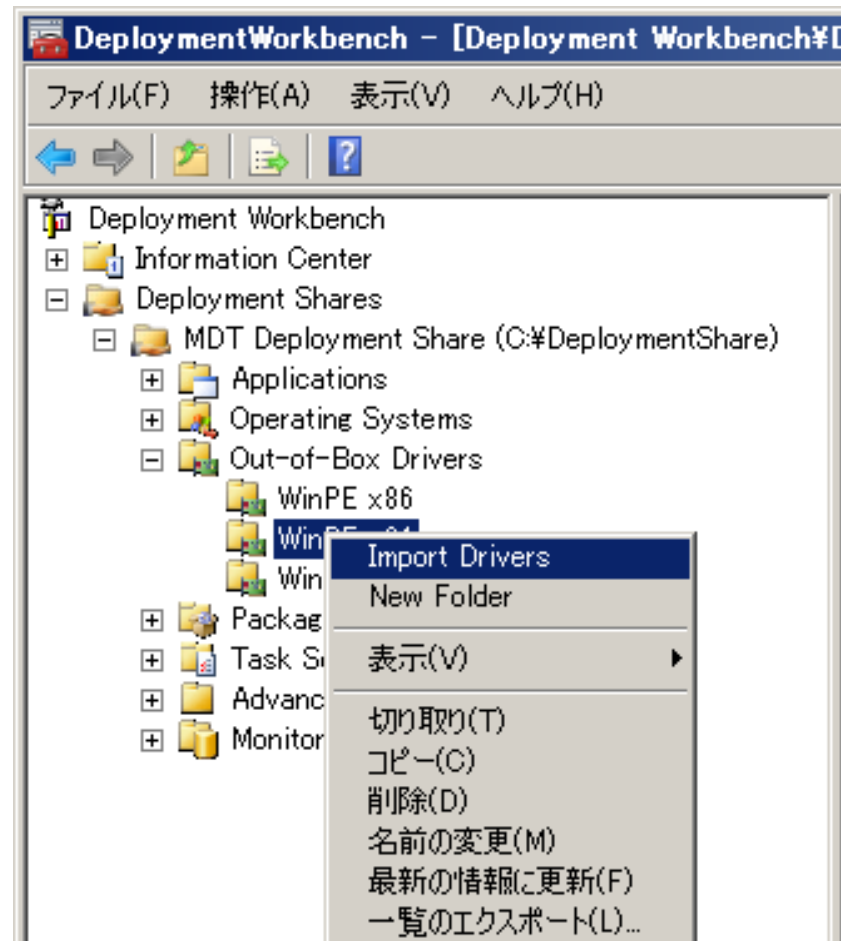


6. デバイスドライバーのインポート

1. HP Client Windows PE 10 x64 Driver Packをダウンロードして展開します。

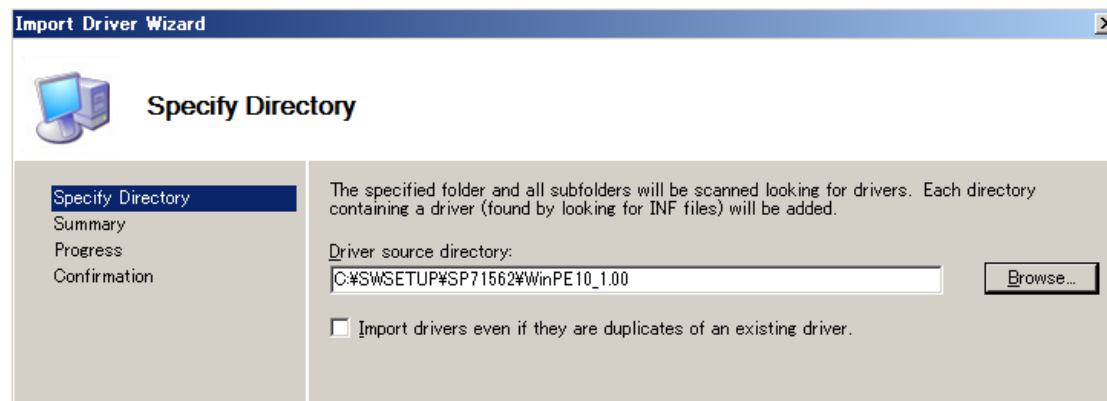
<http://ftp.hp.com/pub/caps-software/cmit/softpack/WinPE10.html>

2. 管理コンソール左側の“Out-of-Box Drivers”を右クリックして表示されたメニューから“New Folder”を選択し“WinPE x64”という名前のフォルダを作成します。
3. “WinPE x64”フォルダを右クリックし、“Import Drivers”を選択します。

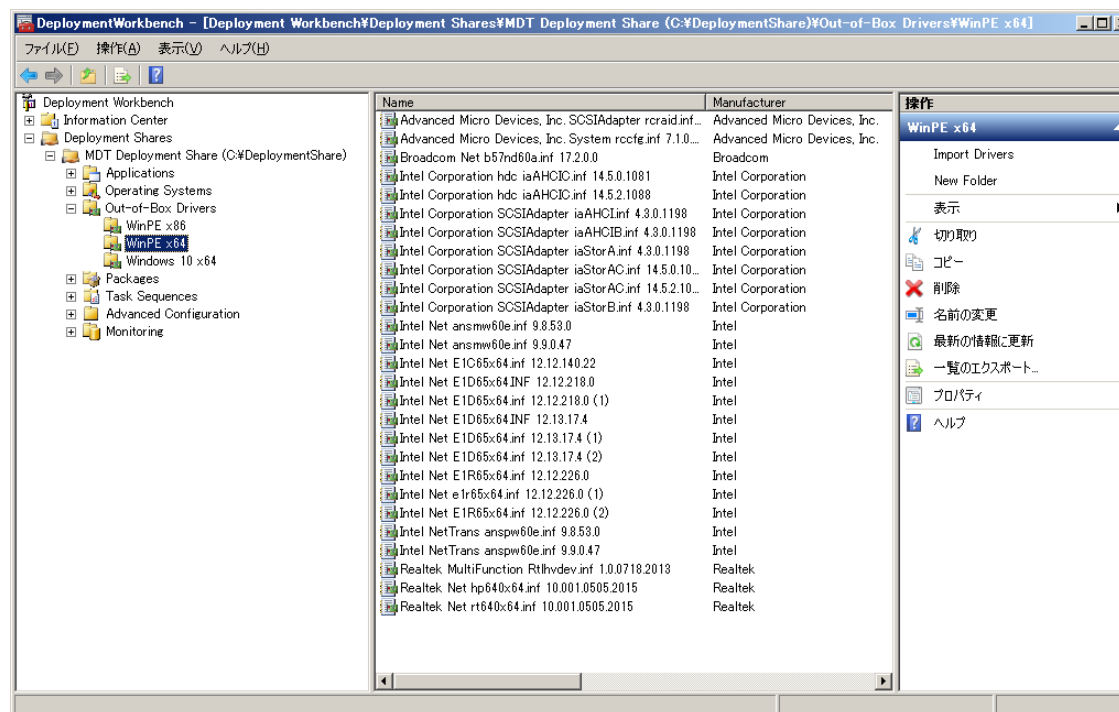


6. デバイスドライバのインポート

4. Import Drivers WizardのSpecify DirectoryページでHP Client Windows PE 10 x64 Driver Pack を展開したフォルダを参照してウィザードを進めます。



5. ドライバのインポートが完了すると右側のペインに表示されます。

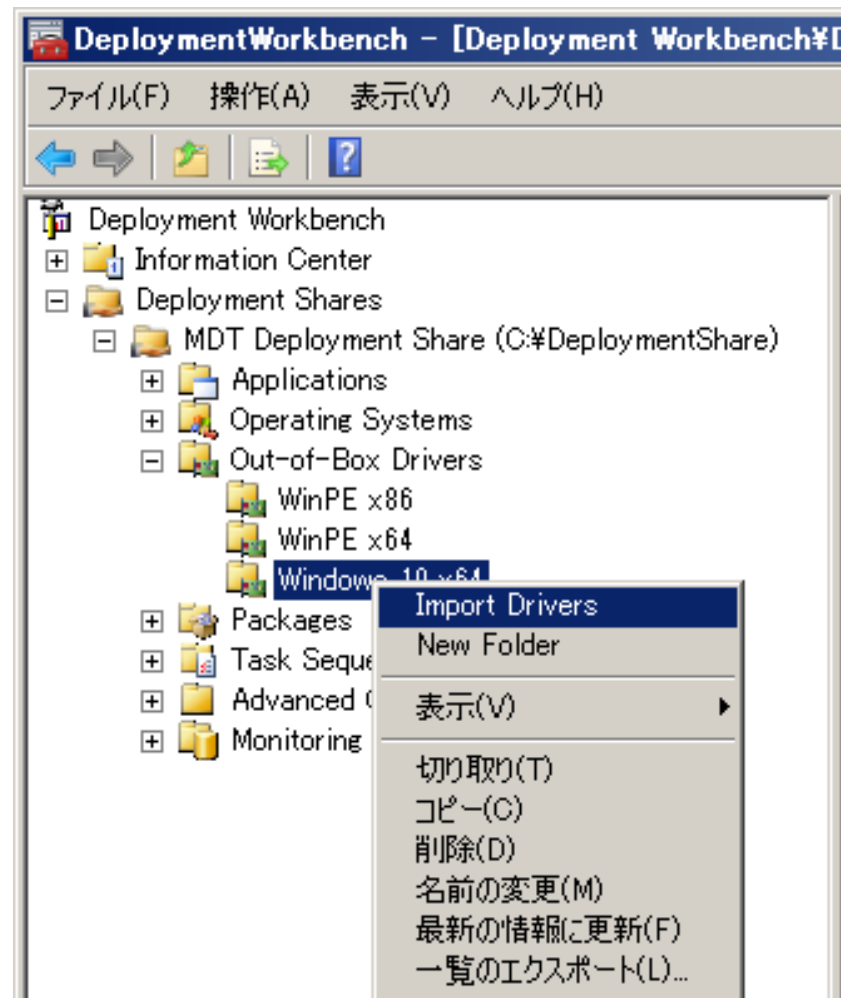


6. デバイスドライバーのインポート

6. 対象のPC用の Windows 10 64-bit Driver Packをダウンロードして展開します。

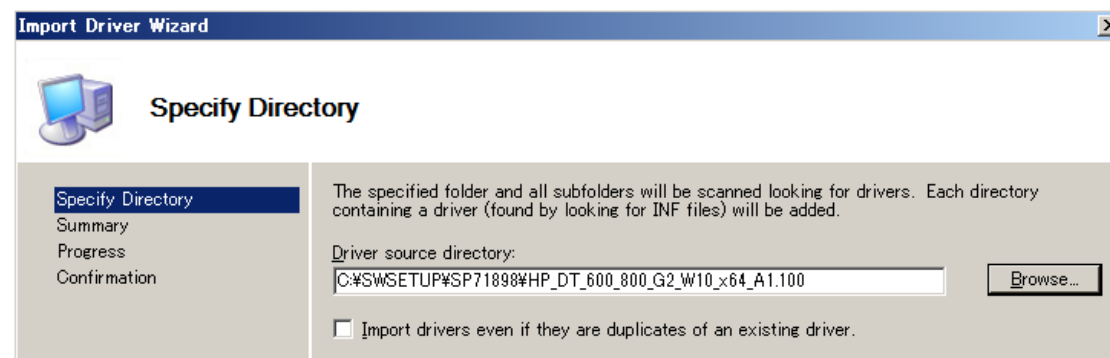
http://ftp.hp.com/pub/caps-softpaq/cmit/HP_Driverpack_Matrix_x64.html

7. 管理コンソール左側の“Out-of-Box Drivers”を右クリックして表示されたメニューから“New Folder”を選択し“Windows 10 x64”という名前のフォルダを作成します。
8. “Windows 10 x64”フォルダを右クリックし、“Import Drivers”を選択します。

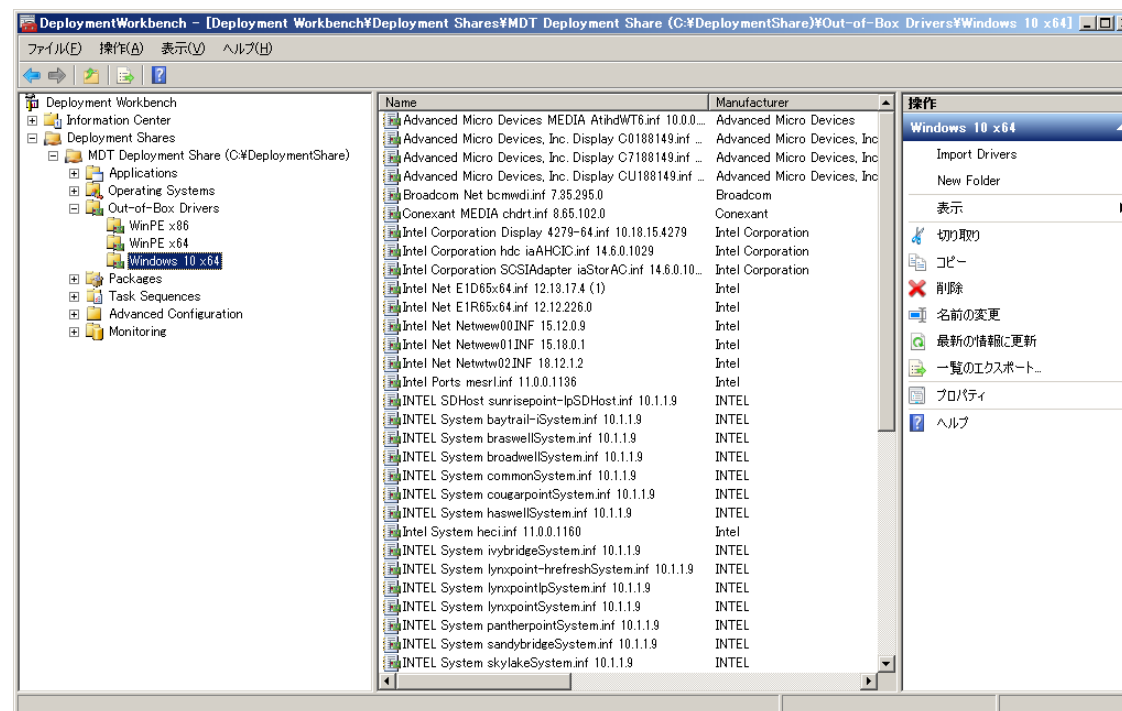


6. デバイスドライバのインポート

9. Import Drivers WizardのSpecify DirectoryページでHP Client Windows PE 10 x64 Driver Pack を展開したフォルダを参照してウィザードを進めます。



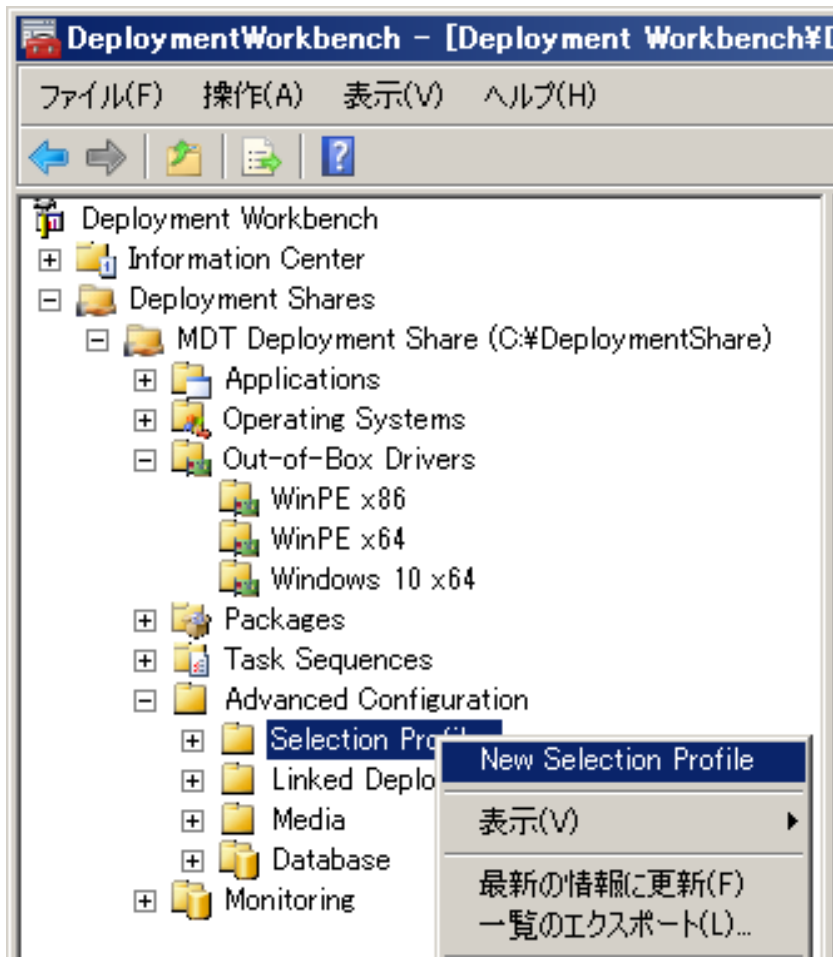
10. ドライバのインポートが完了すると右側のペインに表示されます。



7. ドライバー追加用プロファイルの作成

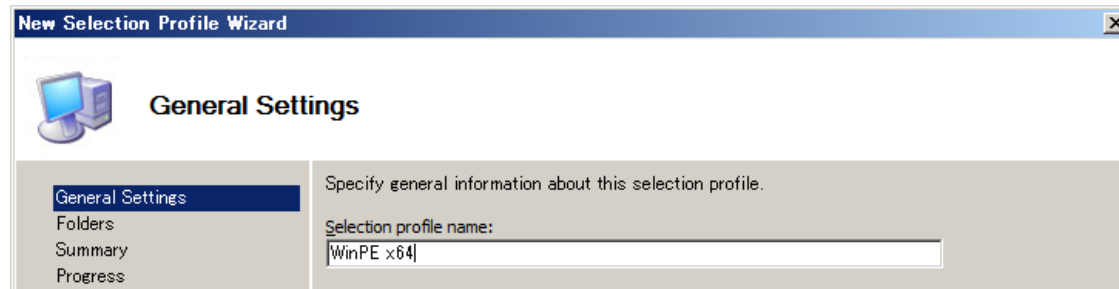
WinPE x64用のドライバーを追加するためのプロファイルを作成します。

1. 管理コンソール左側の“Advanced Configuration”を展開します。
2. “Selection Profiles”を右クリックして表示されたメニューから“New Selection Profile”を選択します。



7. ドライバー追加用プロファイルの作成

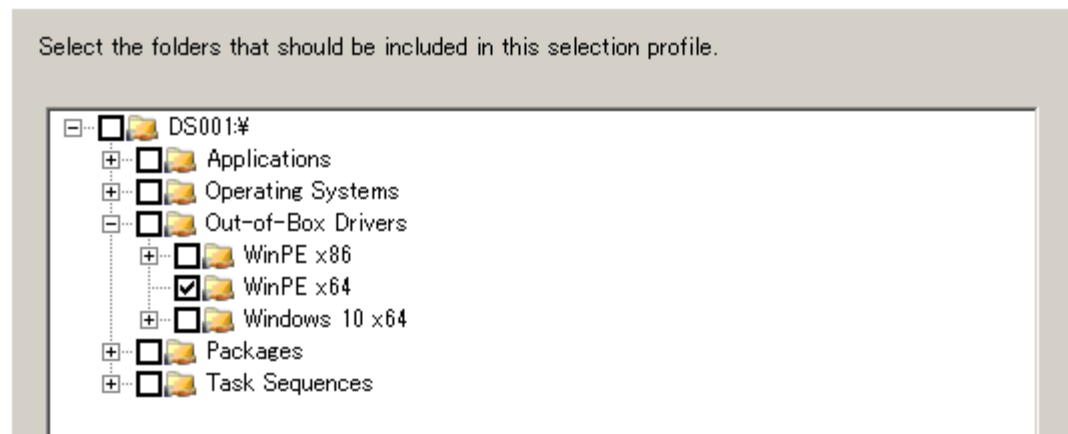
3. Import Drivers WizardのGeneral Settingsページで作成するプロファイルの名前に“WinPE x64”と付けてウィザードを進めます。



5. FoldersページでOut-of-Box Driversの中の“WinPE x64”を選択してウィザードを最後まで進めます。

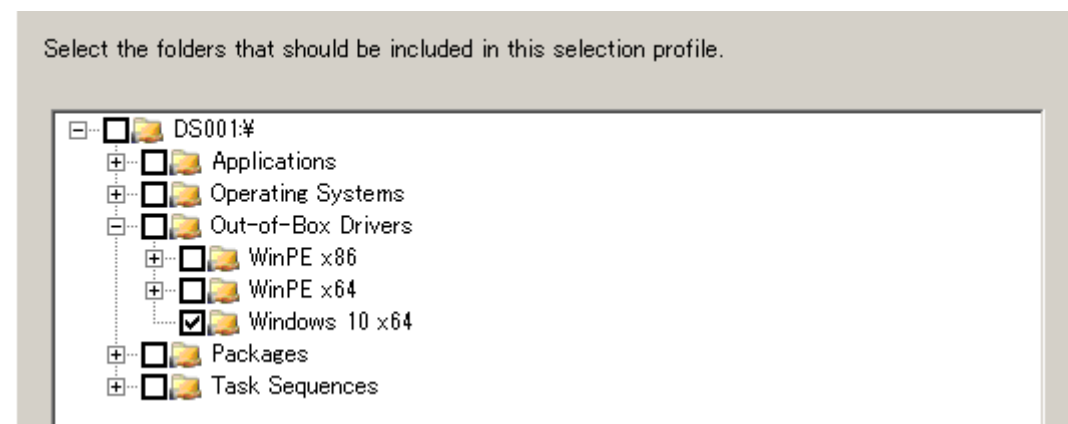
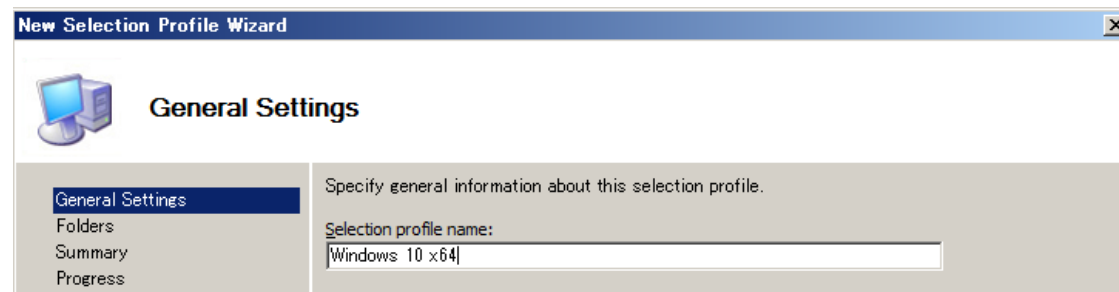
続いてWindows 10 x64用のドライバーを追加するためのプロファイルを作成します。

6. 管理コンソール左側の“Advanced Configuration”を展開します。
7. “Selection Profiles”を右クリックして表示されたメニューから“New Selection Profile”を選択します。



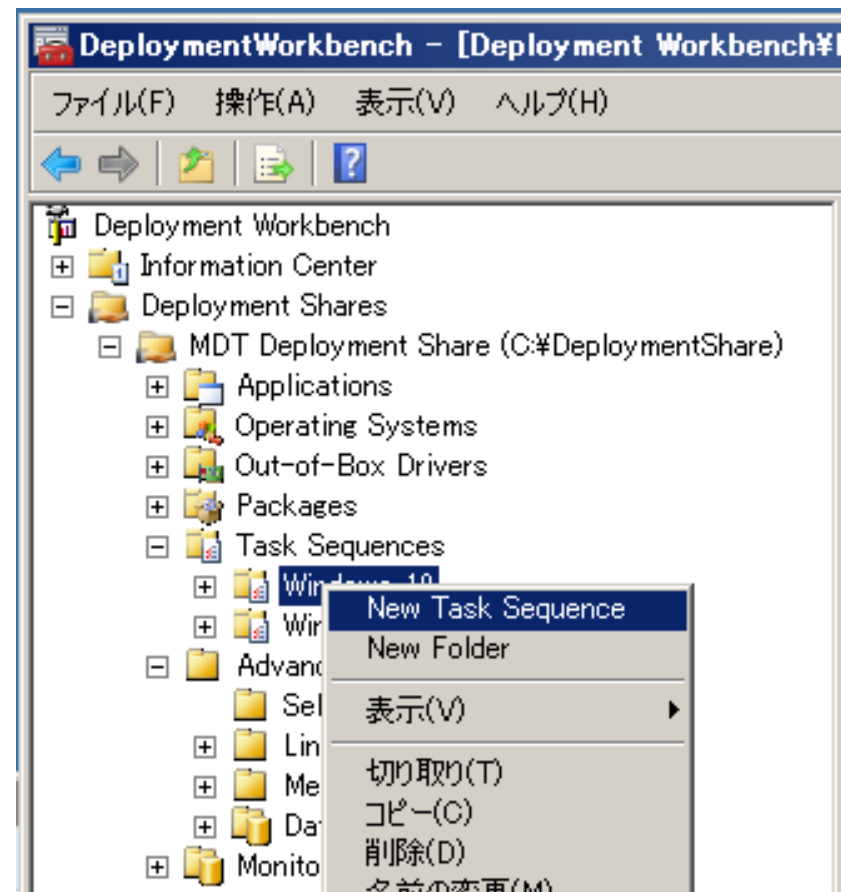
7. ドライバー追加用プロファイルの作成

8. Import Drivers WizardのGeneral Settingsページで作成するプロファイルの名前に“Windows 10 x64”と付けてウィザードを進めます。
9. FoldersページでOut-of-Box Driversの中の“Windows 10 x64”を選択してウィザードを最後まで進めます。
10. 作成したプロファイルは右側のペインに表示されます。



8. 展開タスクシーケンスの作成

1. 管理コンソール左側の“Operating Systems”を右クリックして表示されたメニューから“New Folder”を選択し“Windows 10”という名前のフォルダを作成します。
2. “Windows 10”フォルダを右クリックし、“New Task Sequence”を選択します。



8. 展開用タスクシーケンスの作成

3. New Task Sequence WizardのGeneral SettingsページでTask sequence IDとTask sequence nameを入力してウィザードを次に進めます。

New Task Sequence Wizard



General Settings

Specify general information about this part of the deployment process. The deployment wizard.

Task sequence ID:

Task sequence name:

Task sequence comments:

- General Settings
- Select Template
- Select OS
- Specify Product Key
- OS Settings
- Admin Password
- Summary
- Progress
- Confirmation

4. Select Templateページで“Standard Client Task Sequence”を選択してウィザードを次に進めます。

New Task Sequence Wizard



Select Template

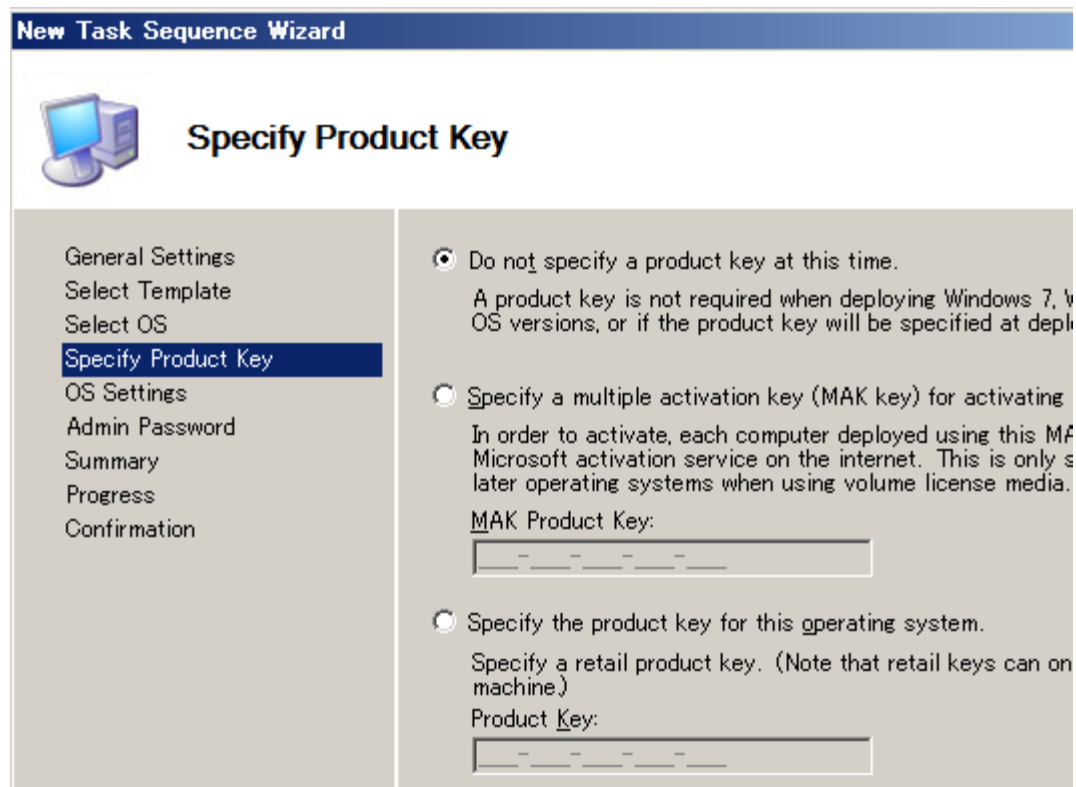
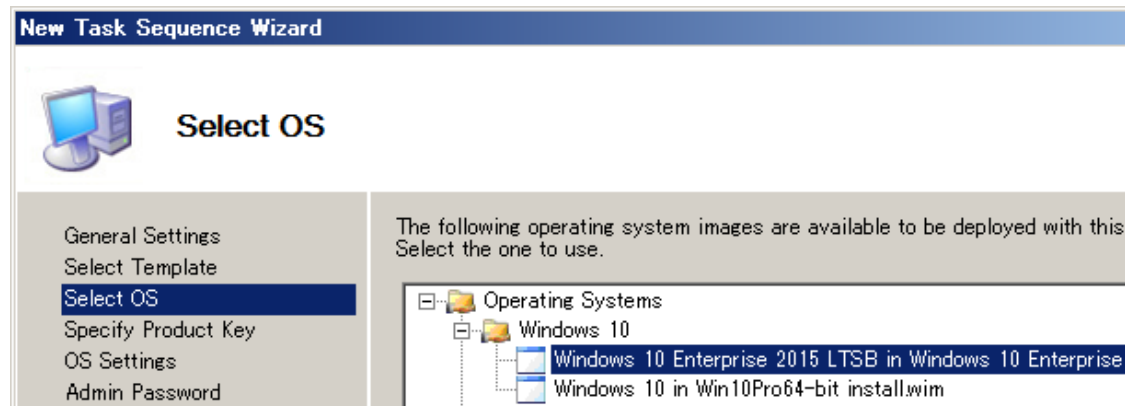
The following task sequence templates are available, starting point.

A complete task sequence for deploying a client oper.

- General Settings
- Select Template
- Select OS
- Specify Product Key
- OS Settings
- Admin Password

8.展開用タスクシーケンスの作成

5. Select OSページでWindows 10フォルダ内のWindows 10イメージを選択してウィザードを次に進めます。
6. Specify Product Keyページで“Do not specify a product key at this time.”を選択してウィザードを次に進めます。
 - Do not specify a product key at this time.
キーは指定せず、後で入力します。
 - Specify a multiple activation key (MAK key) for activating
MAKキーを指定します。
 - Specify the product key for this operating system.
特定のキーを指定します。通常1台しかアクティベートする事は出来ません。



8. 展開用タスクシーケンスの作成

7. OS Settingsページで“Full Name”と“Organization”に名前と組織名を入力してウィザードを次に進めます。

8. Admin Passwordページで“Do not specify an Administrator password at this time.”を選択してウィザードを最後まで進めます。

New Task Sequence Wizard

 **OS Settings**

General Settings
Select Template
Select OS
Specify Product Key
OS Settings
Admin Password
Summary
Progress
Confirmation

Specify settings about this task sequence. These settings will be used for this task sequence, unless overridden during the deployment process.

Full Name:

Organization:

Internet Explorer Home Page:

 **Admin Password**

General Settings
Select Template
Select OS
Specify Product Key
OS Settings
Admin Password
Summary
Progress
Confirmation

Specify the local Administrator password for this task sequence.

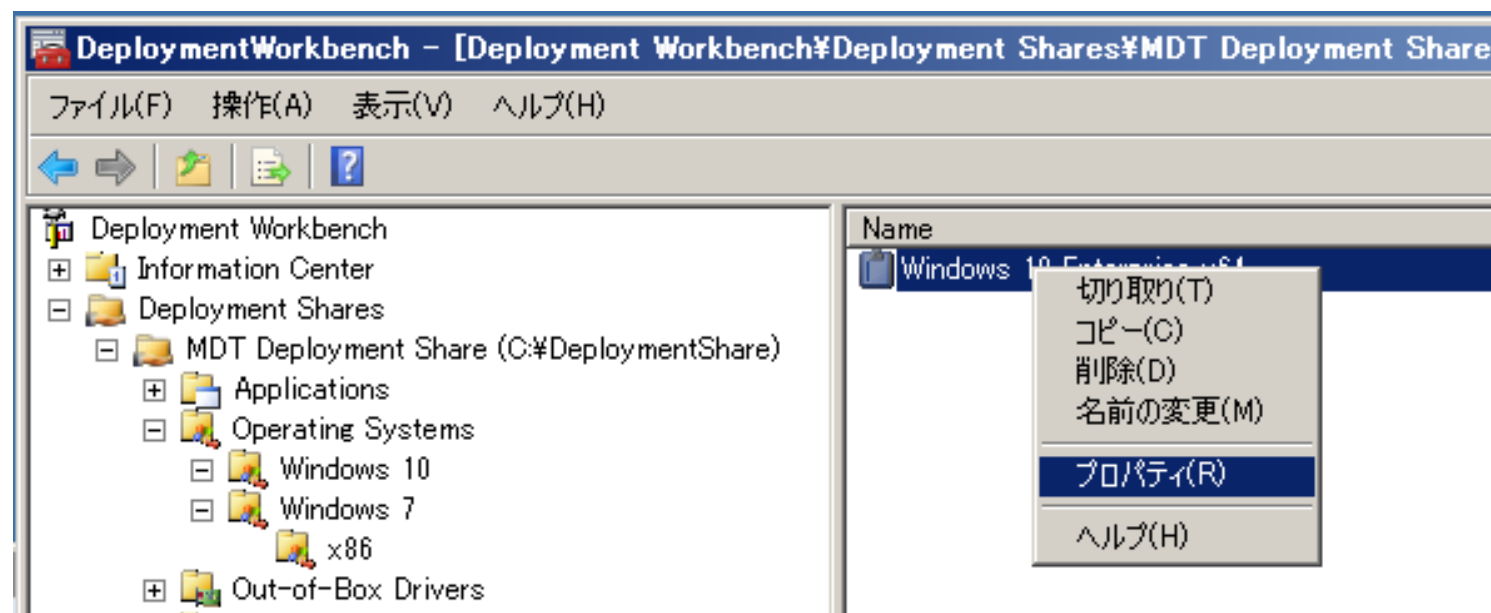
☐ Use the specified local Administrator password.
Administrator Password:

Please confirm Administrator Password:

☒ Do not specify an Administrator password at this time.
The local Administrator password will be provided during the sequence, so it is not needed as part of the task sequence.

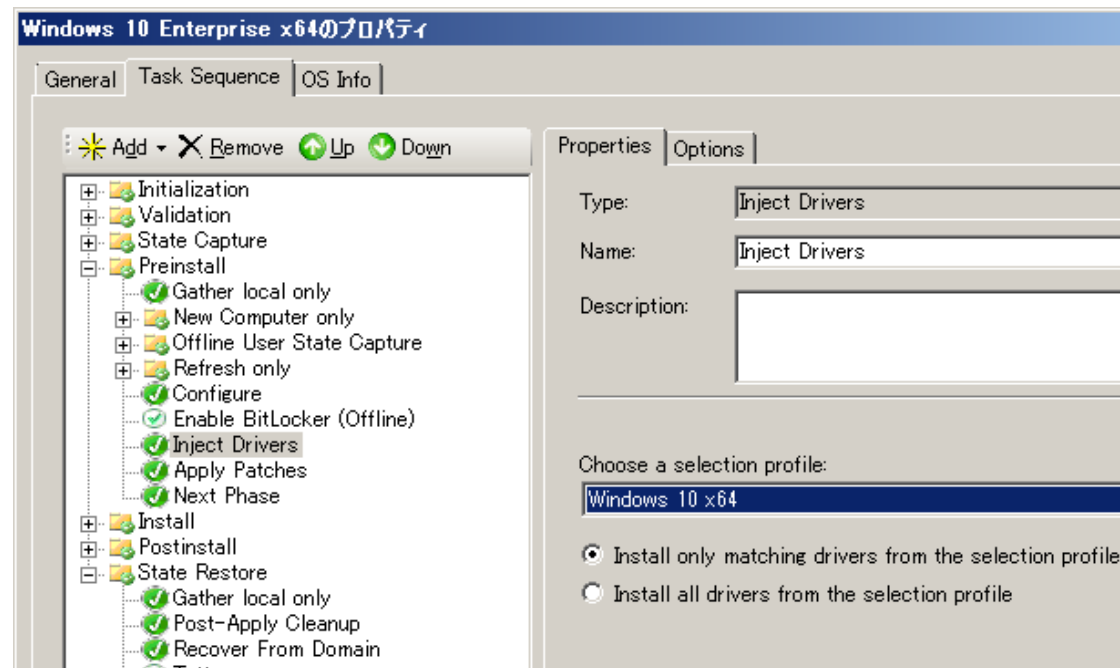
8. 展開用タスクシーケンスの作成

9. 作成したタスクシーケンスは右側のペインに表示されます。右クリックして“プロパティ”を選択します。



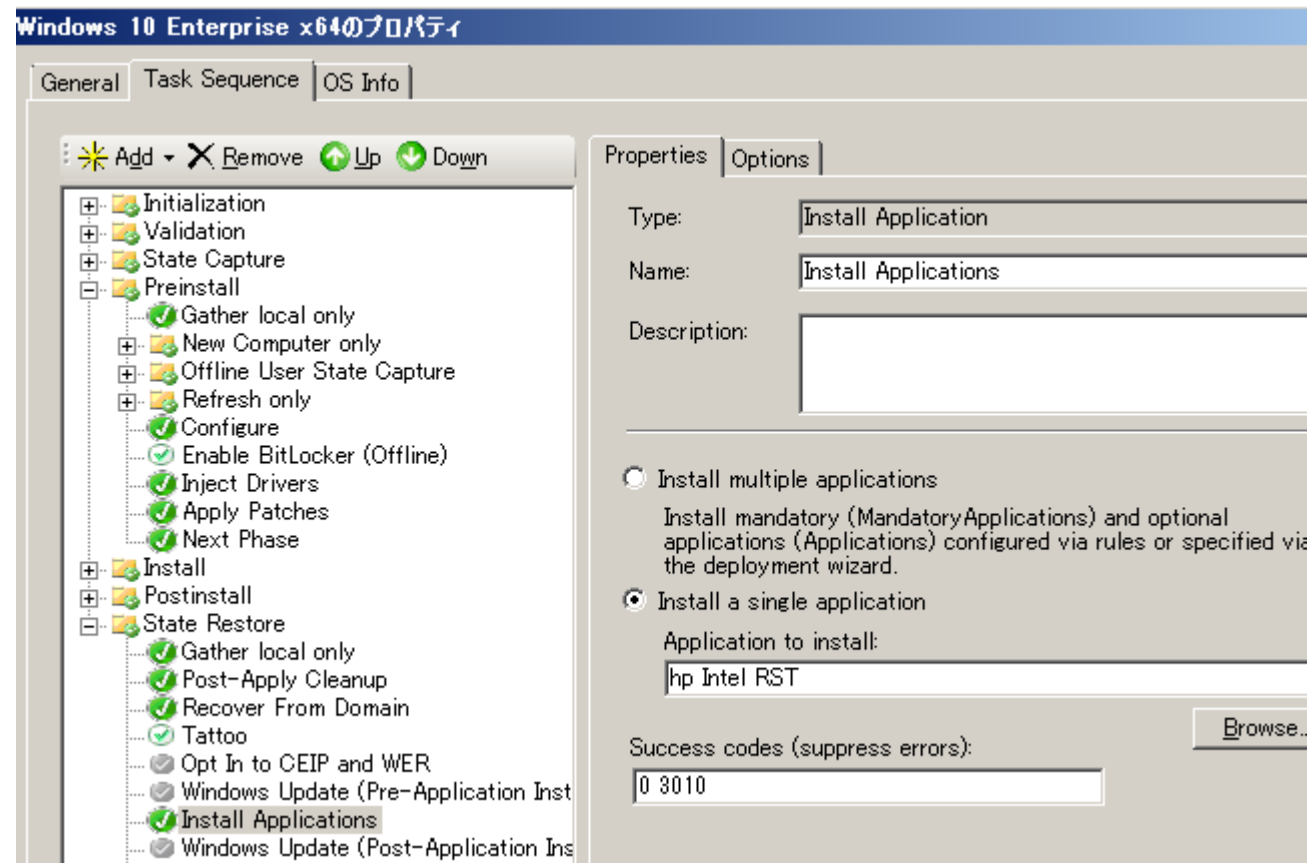
8. 展開用タスクシーケンスの作成

9. タスクシーケンスのプロパティで“Task Sequence”タブをクリックします。
10. Preinstallフォルダを展開し、“Inject Drivers”をクリックして選択します。
11. Choose a selection profileに“Windows 10 x64”を選択します。
12. インストールするドライバの選択はデフォルト設定の“Install only matching drivers from the selection profile”を選択します。



8. 展開用タスクシーケンスの作成

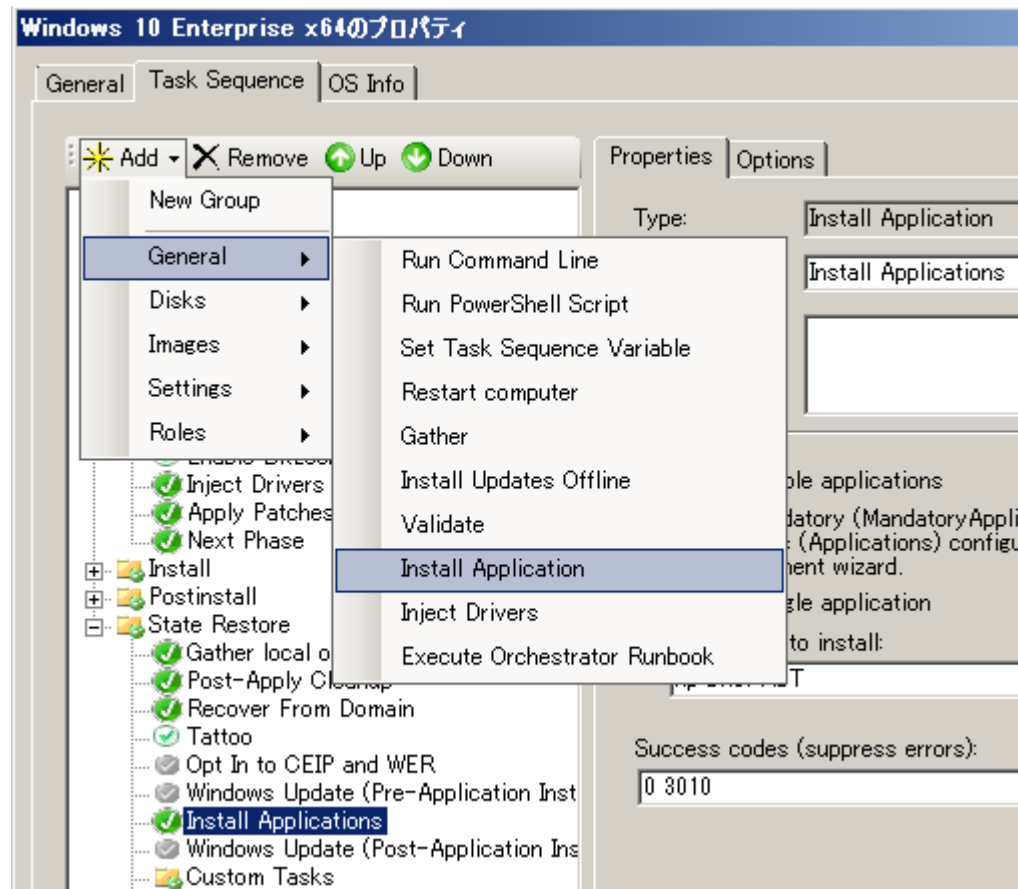
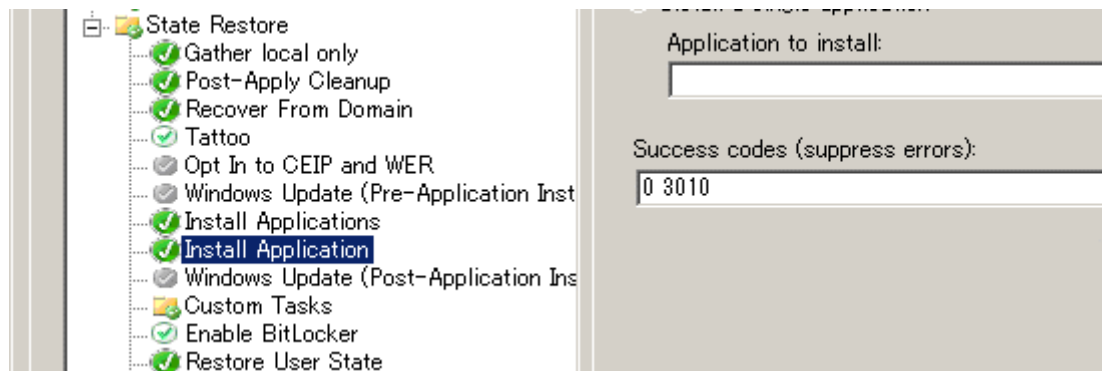
13. State Restore フォルダを展開し、“Install application”をクリックして選択します。
14. Properties タブで“Install a single application”を選択し、Application to install に“hp Intel RST”を選択します。



8.展開用タスクシーケンスの作成

※別のアプリケーションのインストールを追加したい場合は、“Install a single application”を選択した状態でタスクシーケンスのプロパティ上部の“Add”→“General”→“Install Application”をクリックします。

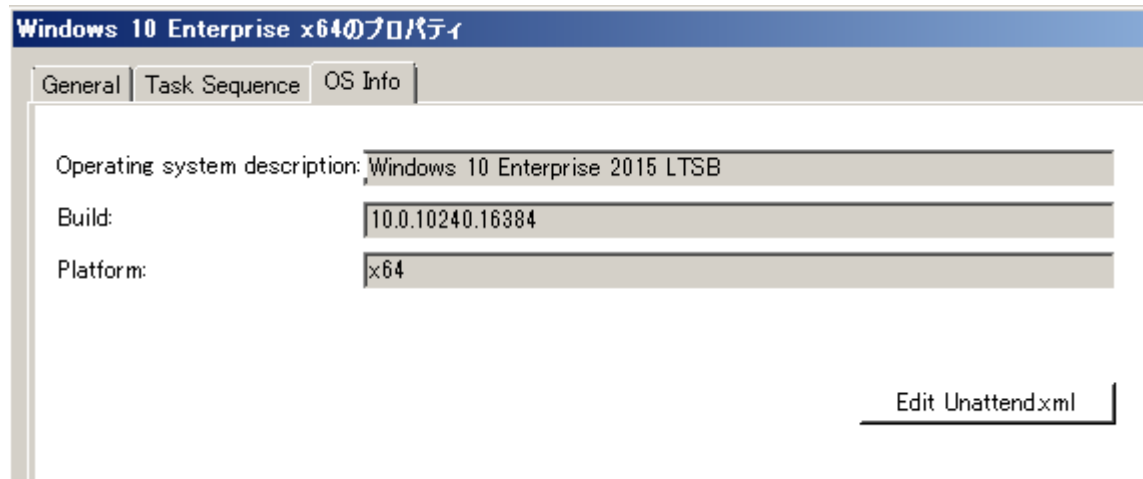
選択していた“Install a single application”の下にもう一つ新たに“Install a single application”が追加されます。



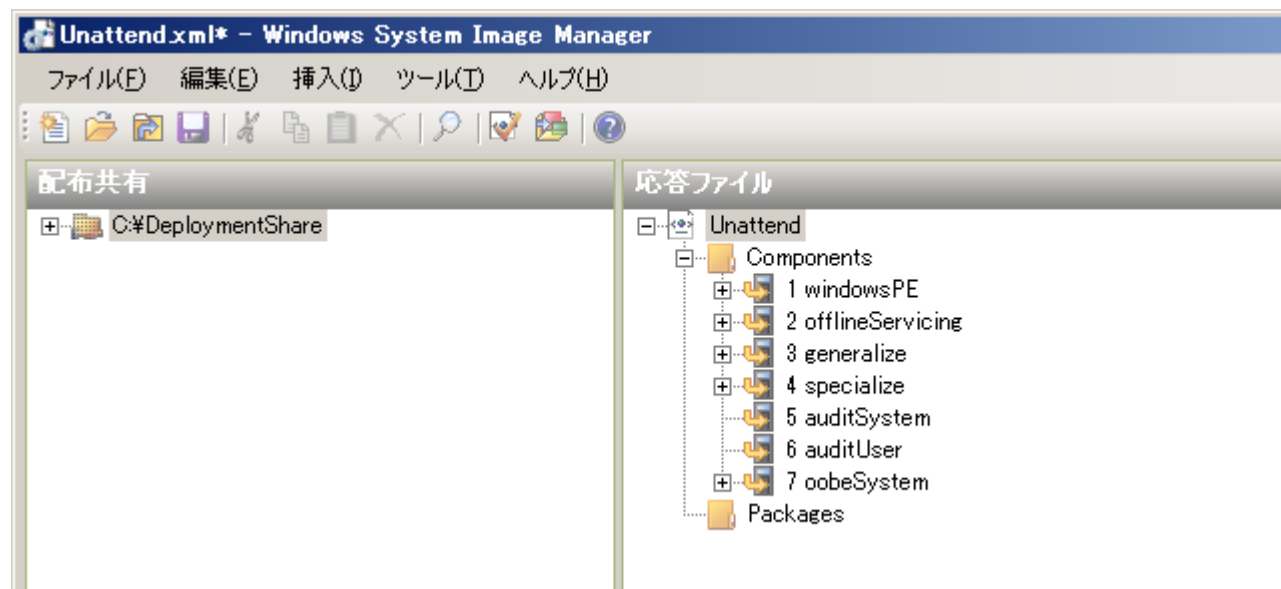
8.展開用タスクシーケンスの作成

15. OS Infoタブをクリックします。

16. Edit Unattend.xmlをクリックします。

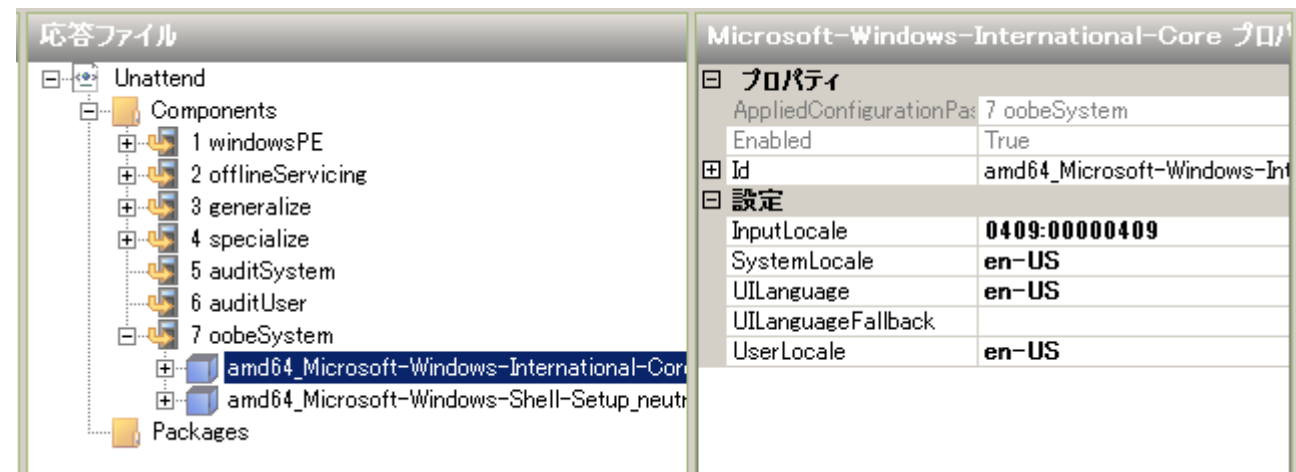


17. Windows System Image Managerが起動します。



8. 展開用タスクシーケンスの作成

18. 応答ファイルのoobeSystemを展開し、
“amd64_Microsoft-Windows-International-Core_neutral”を選択します。

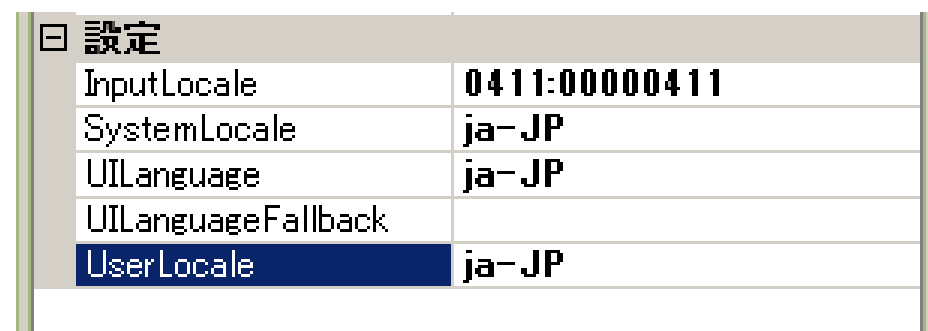


The screenshot displays the Windows Deployment Toolkit (WDT) interface. On the left, the 'Unattend' tree is expanded, showing a sequence of components: 1 windowsPE, 2 offlineServicing, 3 generalize, 4 specialize, 5 auditSystem, 6 auditUser, and 7 oobeSystem. The '7 oobeSystem' component is selected, and its sub-components are visible: 'amd64_Microsoft-Windows-International-Core_neutral' and 'amd64_Microsoft-Windows-Shell-Setup_neutral'. On the right, the 'Properties' and 'Settings' for the selected component are shown.

Microsoft-Windows-International-Core プロパティ	
プロパティ	
AppliedConfigurationPass	7 oobeSystem
Enabled	True
Id	amd64_Microsoft-Windows-International-Core_neutral
設定	
InputLocale	0409:00000409
SystemLocale	en-US
UILanguage	en-US
UILanguageFallback	
UserLocale	en-US

19. ここでは日本語設定のためにロケールと言語を
以下のように設定します。

InputLocale	0411:00000411
SystemLocale	ja-JP
UILanguage	ja-JP
UILanguageFallback	
UserLocale	ja-JP



The screenshot shows the 'Settings' for the 'UserLocale' property. The 'UserLocale' is set to 'ja-JP'.

設定	
InputLocale	0411:00000411
SystemLocale	ja-JP
UILanguage	ja-JP
UILanguageFallback	
UserLocale	ja-JP

8. 展開用タスクシーケンスの作成

20. “amd64_Microsoft-Windows-Shell-Setup_neutral”を選択します。

21. ここでは日本のタイムゾーン設定のために以下のように入力します。

TimeZone Tokyo Standard Time

The screenshot displays the Windows Deployment Toolkit (WDT) interface. On the left, the 'Unattend' file is expanded, showing a tree structure of components. The 'oobeSystem' component is selected, and its sub-components are listed. The 'amd64_Microsoft-Windows-Shell-Setup_neutral' component is highlighted. On the right, the 'Microsoft-Windows-Shell-Setup プロパティ' (Microsoft-Windows-Shell-Setup Properties) window is open, showing various configuration options. The 'TimeZone' property is set to 'Tokyo Standard Time'.

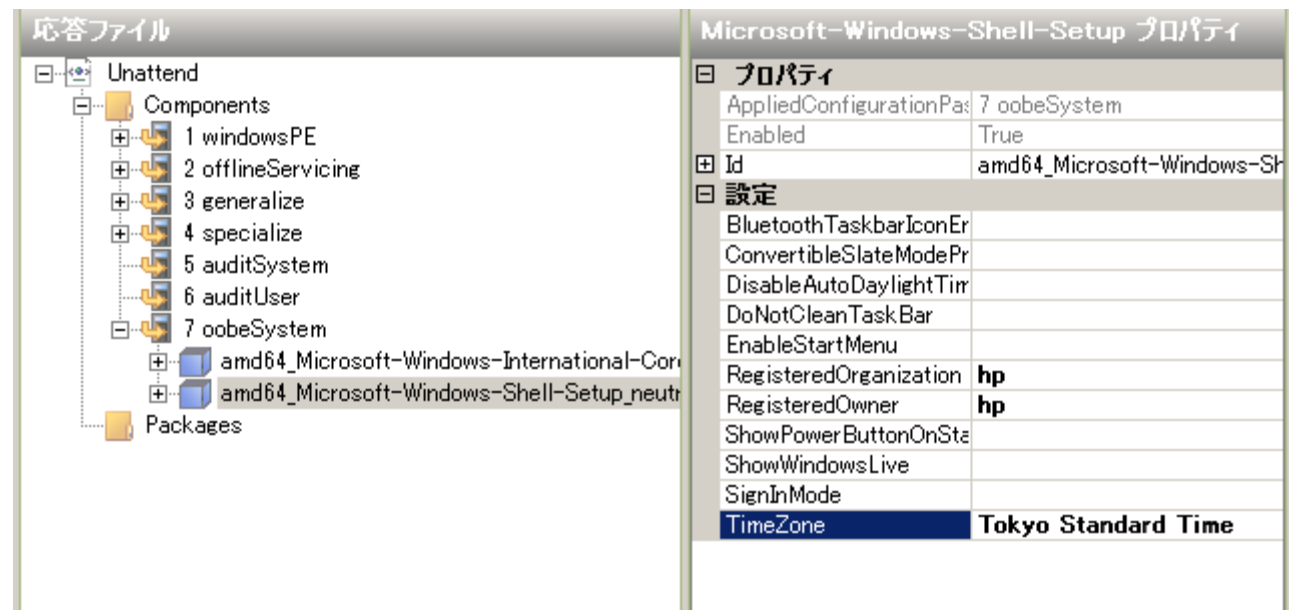
Microsoft-Windows-Shell-Setup プロパティ	
プロパティ	
AppliedConfigurationPas	7 oobeSystem
Enabled	True
Id	amd64_Microsoft-Windows-Sh
設定	
BluetoothTaskbarIconEr	
ConvertibleSlateModePr	
DisableAutoDaylightTim	
DoNotCleanTaskBar	
EnableStartMenu	
RegisteredOrganization	hp
RegisteredOwner	hp
ShowPowerButtonOnSta	
ShowWindowsLive	
SignInMode	
TimeZone	Tokyo Standard Time

8. 展開用タスクシーケンスの作成

20. “amd64_Microsoft-Windows-Shell-Setup_neutral”を選択します。

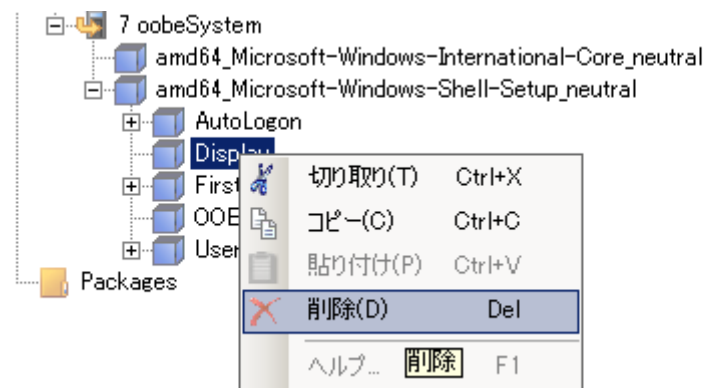
21. ここでは日本のタイムゾーン設定のために以下のように設定します。

TimeZone Tokyo Standard Time



22. “amd64_Microsoft-Windows-Shell-Setup_neutral”を展開し、“Display”を削除します。

※Displayを未設定の状態のまま応答ファイルを保存すると確認エラーが表示される事を防止するために削除しています。

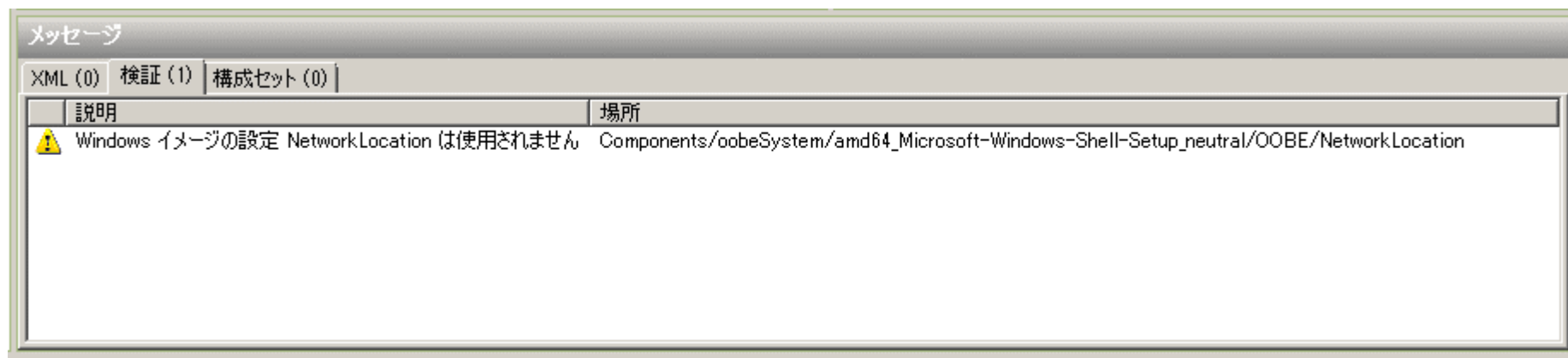


8.展開用タスクシーケンスの作成

23. 応答ファイルを保存します。



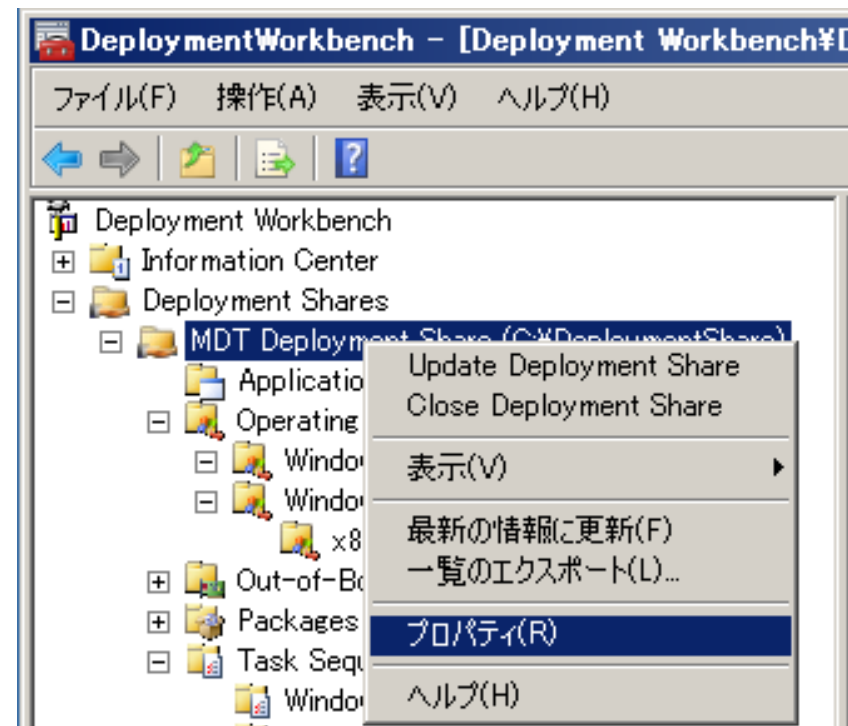
24. 下記のメッセージが表示されますが問題ありません。



25. タスクシーケンスのプロパティで“OK”をクリックして閉じます。

9. 展開用共有フォルダの構成

1. 管理コンソール左側の“MDT Deployment Share”を右クリックして表示されたメニューから“プロパティ”を選択します。



9. 展開用共有フォルダの構成

3. “Rules”タブをクリックします。

4. [Default]の下を以下の内容に変更します。

_SMSTSORGNAME=hpi

OSInstall=YES

UserDataLocation=AUTO

TimeZoneName=Tokyo Standard Time

USMTMigFiles001=MigApp.xml

USMTMigFiles002=MigUser.xml

HideShell=YES

ApplyGPOPack=NO

SkipAppsOnUpgrade=NO

SkipAdminPassword=YES

SkipProductKey=YES

SkipComputerName=NO

SkipUserData=YES

SkipLocaleSelection=YES

SkipTaskSequence=NO

SkipTimeZone=YES

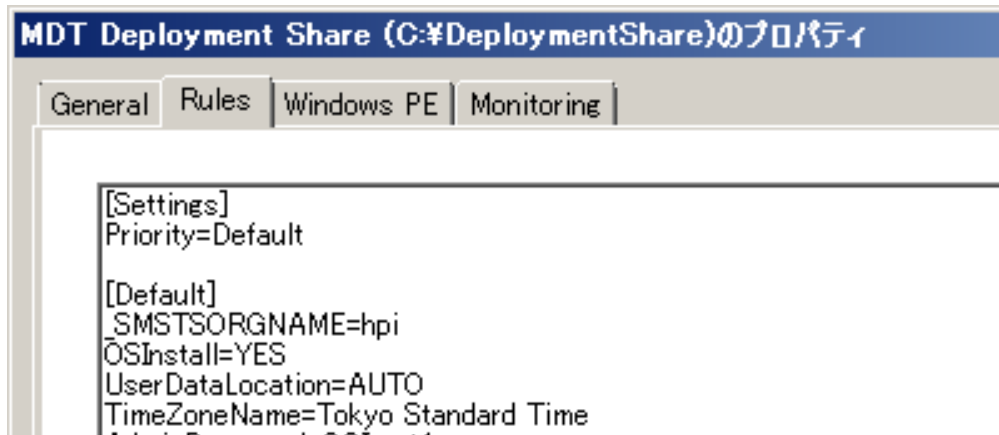
SkipApplications=NO

SkipBitLocker=YES

SkipSummary=YES

SkipCapture=NO

SkipFinalSummary=NO



9. 展開用共有フォルダの構成

5. プロパティウィンドウ右下の“Edit Bootstrap.ini”をクリックします。

6. メモ帳が起動してBootstrap.iniが開きますので、以下の内容を設定して上書き保存します。

[Settings]

Priority=Default

[Default]

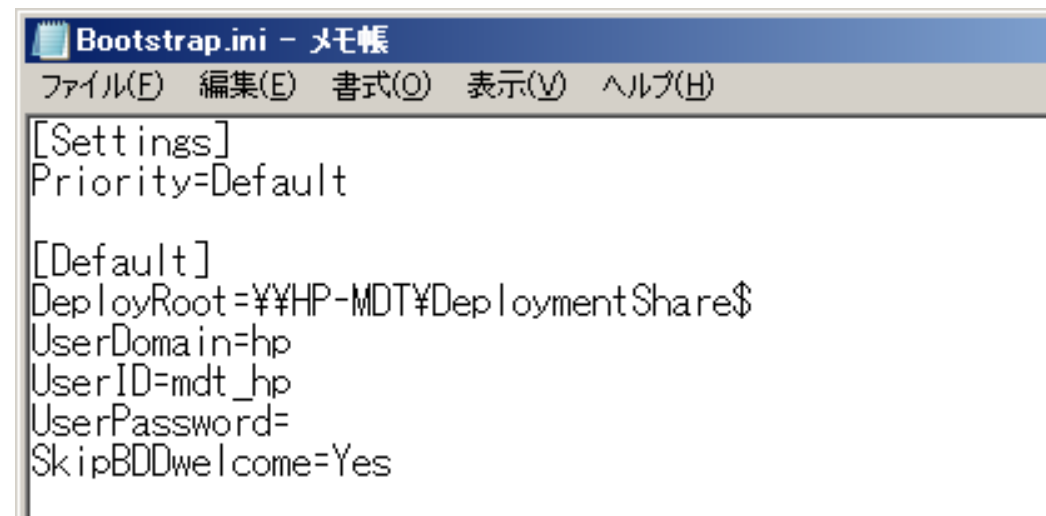
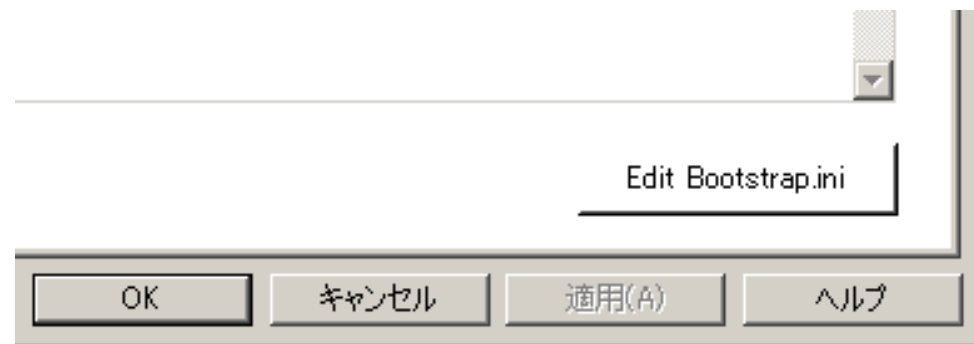
DeployRoot=¥¥HP-MDT¥DeploymentShare\$

UserDomain=hp（ドメイン名）

UserID=mdt_hp（共有にアクセスするユーザー名）

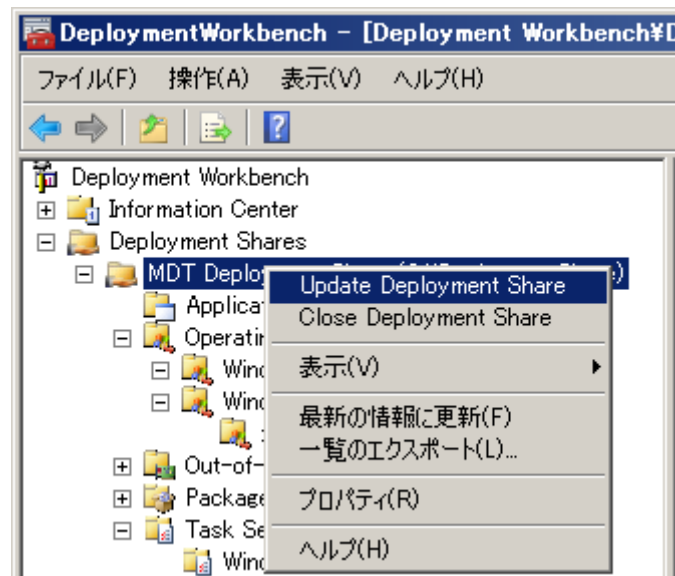
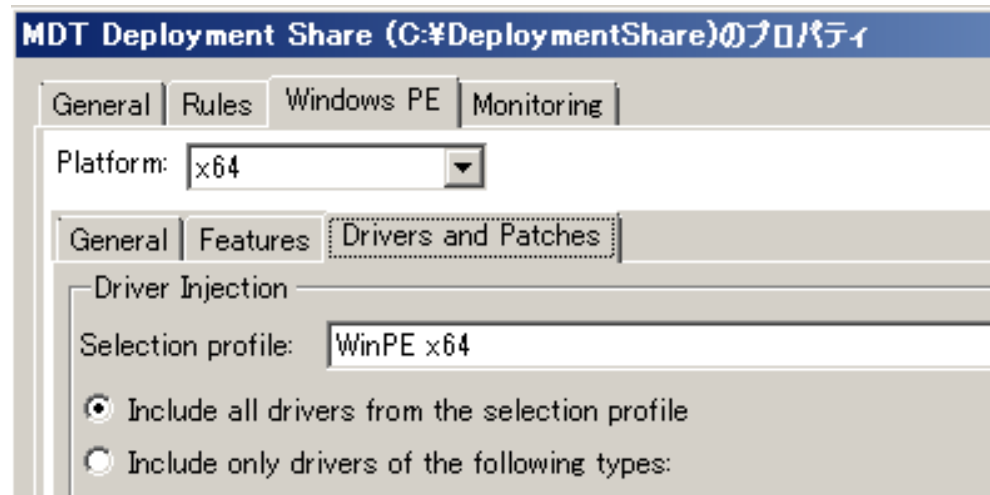
UserPassword= ユーザーのパスワード

SkipBDDwelcome=Yes



9. 展開用共有フォルダの構成

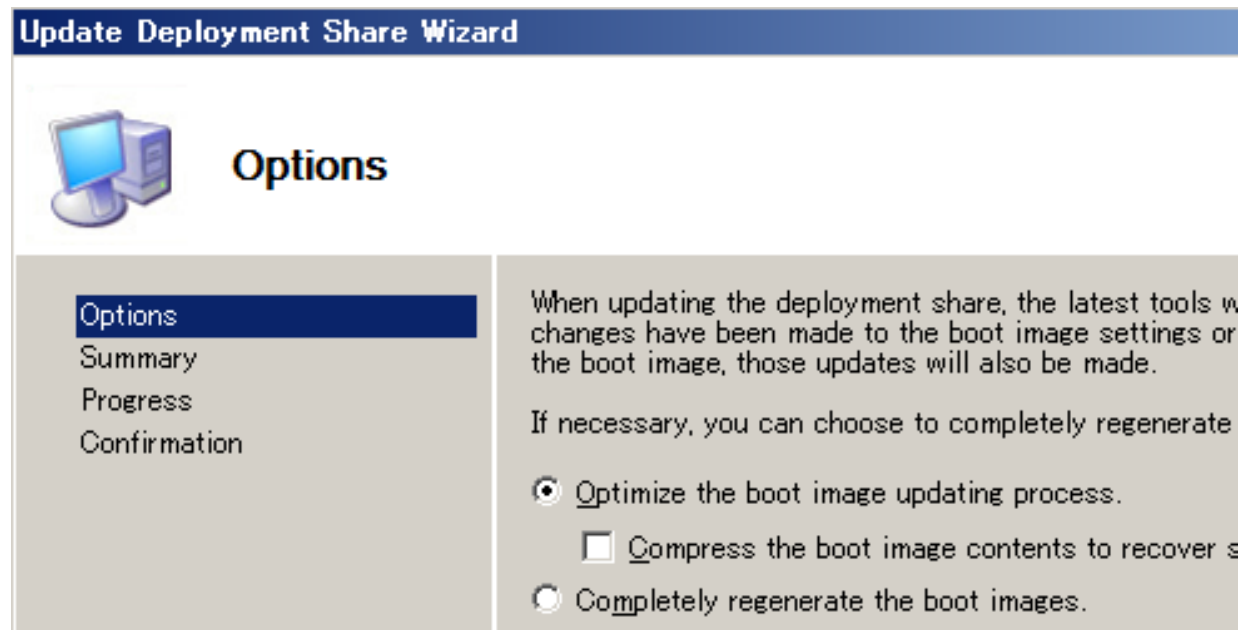
7. “Windows PE”タブをクリックします。
 8. Platformに“x64”を選択します。
 9. “Drivers and Patches”タブをクリックします。
 10. Selection profileに“WinPE x64”を選択します。
 11. “OK”をクリックしてプロパティを閉じます。
 12. 管理コンソール左側の“MDT Deployment Share”を右クリックして表示されたメニューから“Update Deployment Share”を選択します。
- ※OSイメージの追加やタスクシーケンスの作成など、Deployment Sharesに対して何らかの設定変更を行った場合は必ず最後にこのアップデートを行う必要があります。



9. 展開用共有フォルダの構成

13. Update Deployment Share WizardのOptionsページで
“Optimize the boot image updating process”を選択
してウィザードを最後まで進めます。

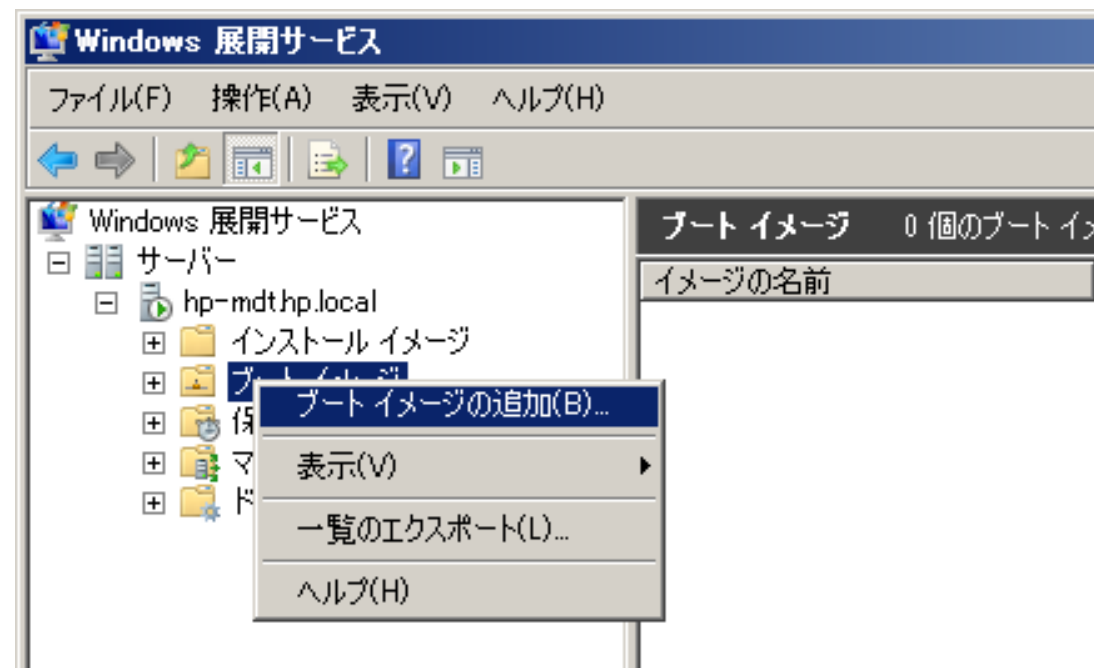
※初回のアップデートは時間がかかりますが、このオプションでは2回目以降は差分のみの更新となりますので
変更内容によっては短い時間で完了するようになります。



10.Windows展開サービスの構成

Windows展開サービスはWindows Server OSの役割の一つで、ここまでの手順で作成したMDTの共有フォルダにアクセスしてOSイメージをインストールするためのブートイメージ（WinPE）をネットワーク経由で配信するために使用します。

1. 管理ツールのWindows展開サービスを起動します。
2. “ブート イメージ”を右クリックして表示されたメニューから“ブート イメージの追加”を選択します。



10.Windows展開サービスの構成

3. イメージの追加ウィザードのイメージ ファイル ページでファイルの場所に以下のブートイメージを指定し、ウィザードを次に進めます。

C:\DeploymentShare\Boot\LiteTouchPE_x64.wim

4. イメージのメタデータページでは、デフォルトの設定のままウィザードを次に進めます。

イメージの追加ウィザード

イメージ ファイル

追加するイメージが含まれた Windows イメージ (wim) ファイルの場所を入力してください。

ファイルの場所(E):

C:\DeploymentShare\Boot\LiteTouchPE_x64.wim

注意: 既定のブート イメージとインストール イメージ (Boot.wim と Install.wim) は %Sources フォルダにあります。

イメージの追加ウィザード

イメージのメタデータ

次のイメージの名前と説明を入力してください。

'MDT Production x64'

イメージの名前(M):

MDT Production x64

イメージの説明(D):

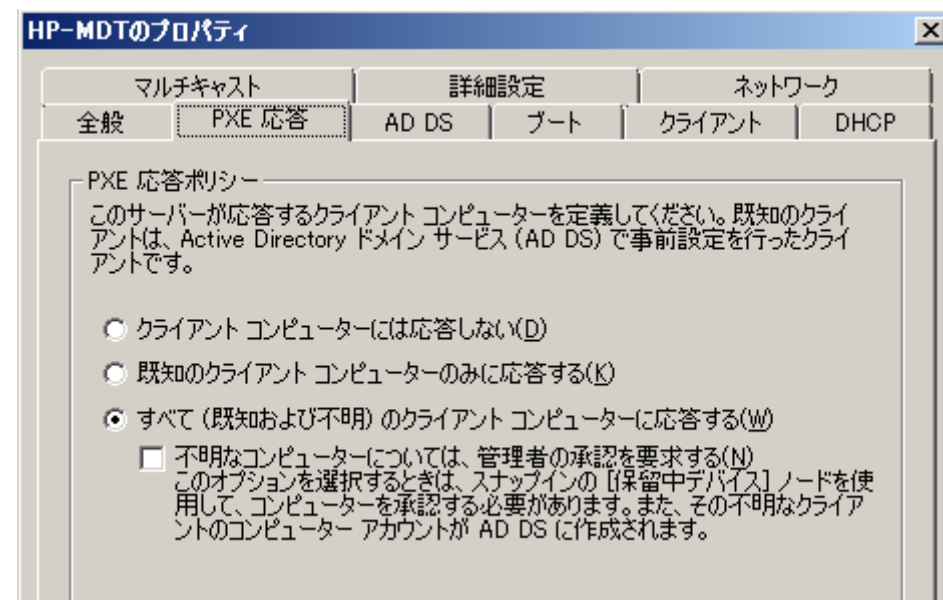
MDT Production x64

イメージのアーキテクチャ:

x64

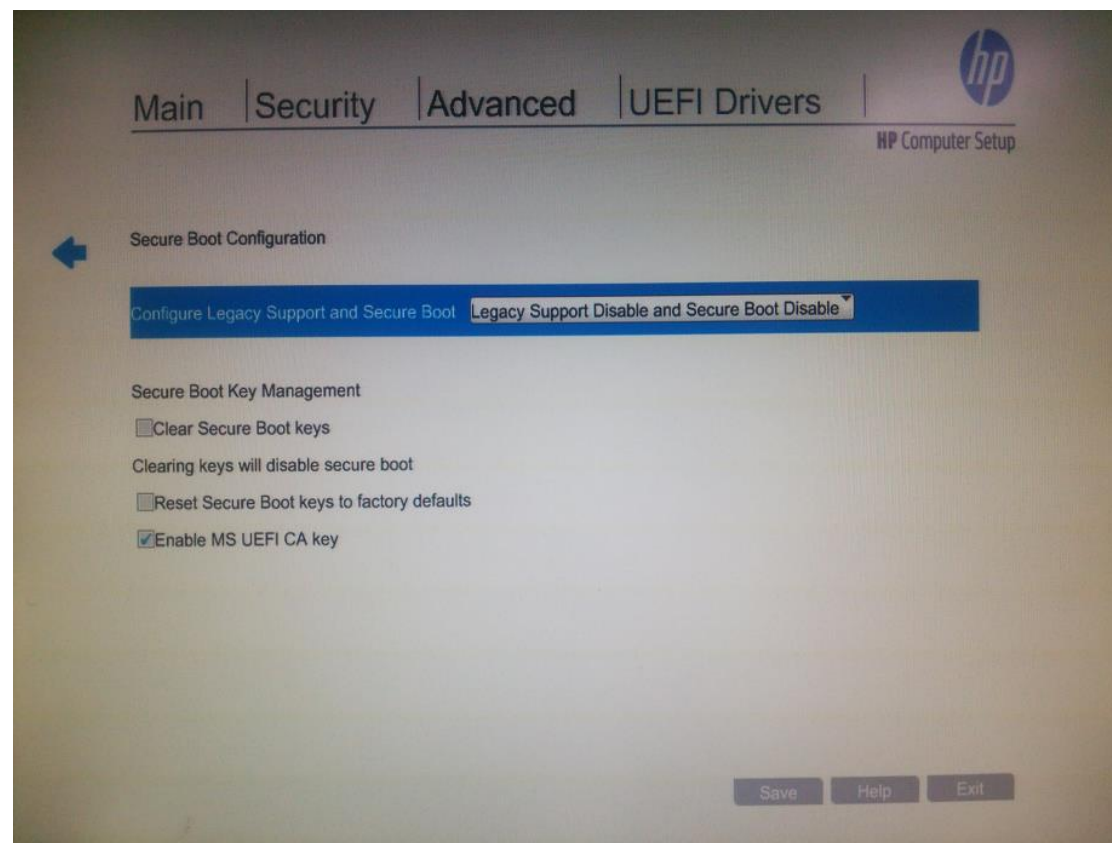
10.Windows展開サービスの構成

- 追加したブートイメージはWindows展開サービスの管理コンソールの右側のペインに表示されます。
- 管理コンソールの左側のペインでサーバー名を右クリックして表示されたメニューから“プロパティ”を選択します。
- プロパティ画面で“PXE応答”タブをクリックし、PXE 応答ポリシーを“すべて（既知および不明）のクライアントコンピュータに応答する”を選択し、“OK”をクリックしてプロパティ画面を閉じます。



11.Windows展開サービスを使用したWindows 10イメージの展開

1. PCの電源を投入し、hpのロゴが表示されたら[F10]キーを何度か押します。
2. BIOS設定画面で[Advanced]→[Secure Boot Configuration]を選択します。
3. Configure Legacy Support and Secure Bootの値を[Legacy Support Disable and Secure Boot Disable]に変更します。
4. [F10]キーを押します。
5. Exiting画面で[Yes]を選択し、変更を保存してBIOS設定画面を抜けます。

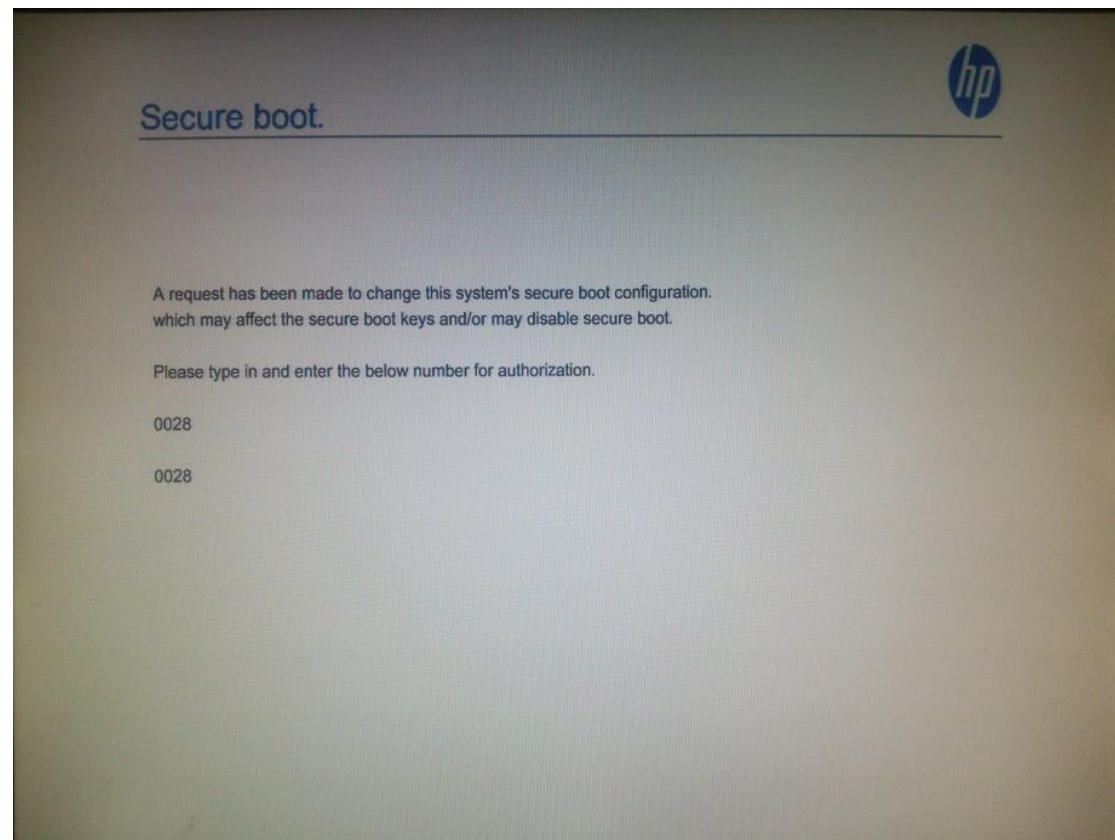


11.Windows展開サービスを使用したWindows 10イメージの展開

6. PCが再起動し、Secure Boot画面が表示されたら画面に表示されている4桁の数字を入力して[Enter]キーを押します。

※この4桁の数字は毎回違う組み合わせになります

7. PCが再起動し、hpのロゴが表示されたら[F12]キーを何度か押します。



11.Windows展開サービスを使用したWindows 10イメージの展開

8. Network (PXE) Boot Menu画面で、[UEFI NW – IPV4 Network – Intel(R) Ethernet Connection (H) I219-LM]を選択します。
9. 以下のメッセージが画面に表示されたら[Enter]キーを押します。

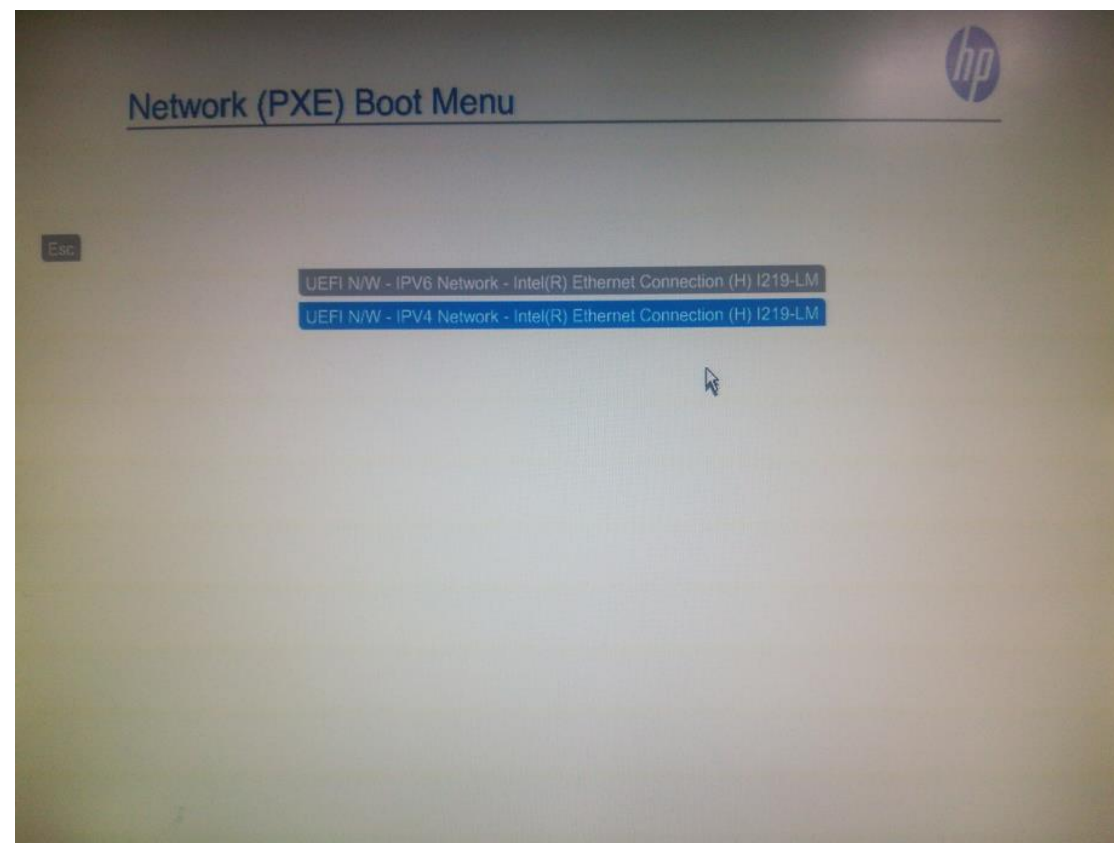
WDS Boot Manager version xxxx

Client IP: xxx.xxx.xxx.xxx

Server IP: xxx.xxx.xxx.xxx

Server Name:hp-mdt.hp.local

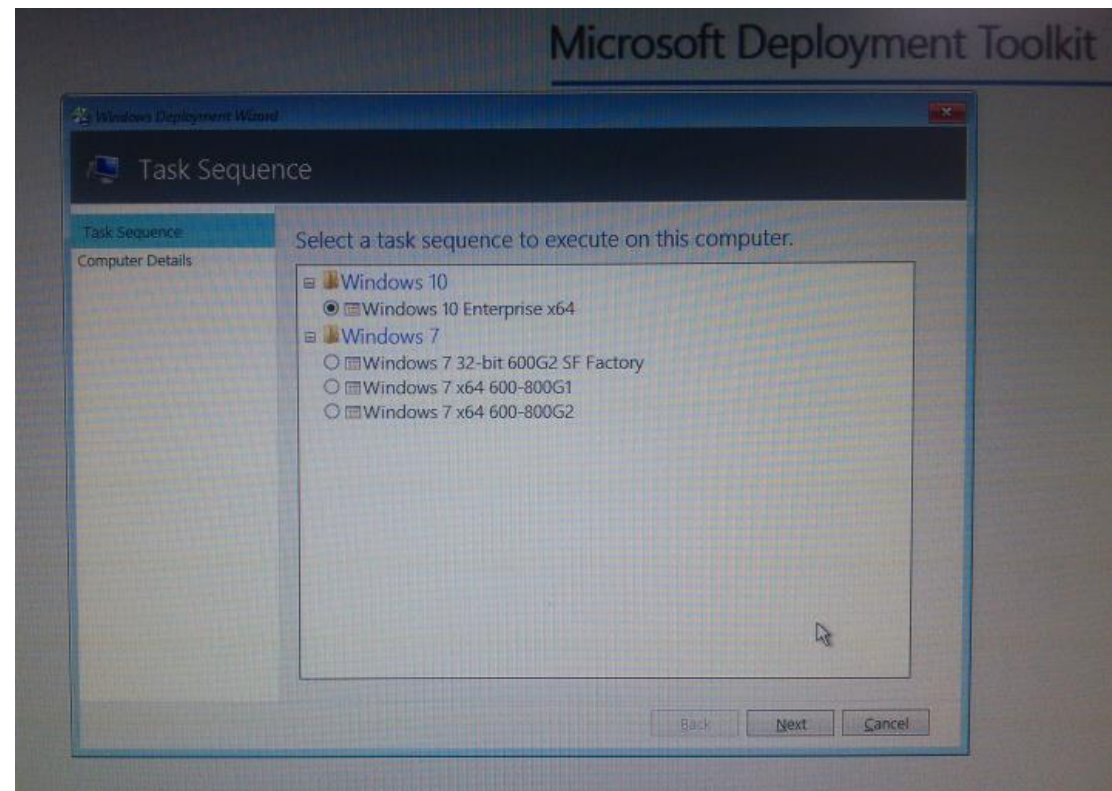
Press ENTER for network boot service.



11.Windows展開サービスを使用したWindows 10イメージの展開

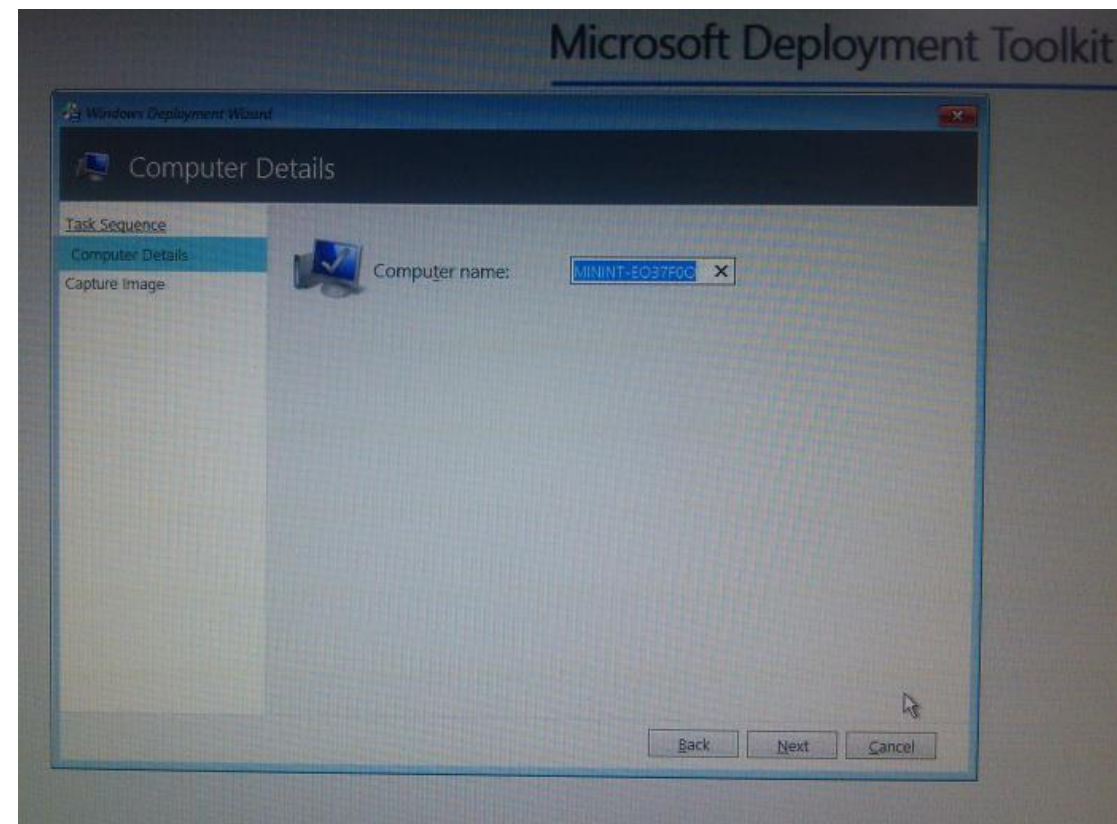
10. ブートイメージ（WinPE） が起動します。

11. Task Sequence画面では、作成したWindows 10展開用のタスクシーケンスを選択し、[Next]をクリックします。



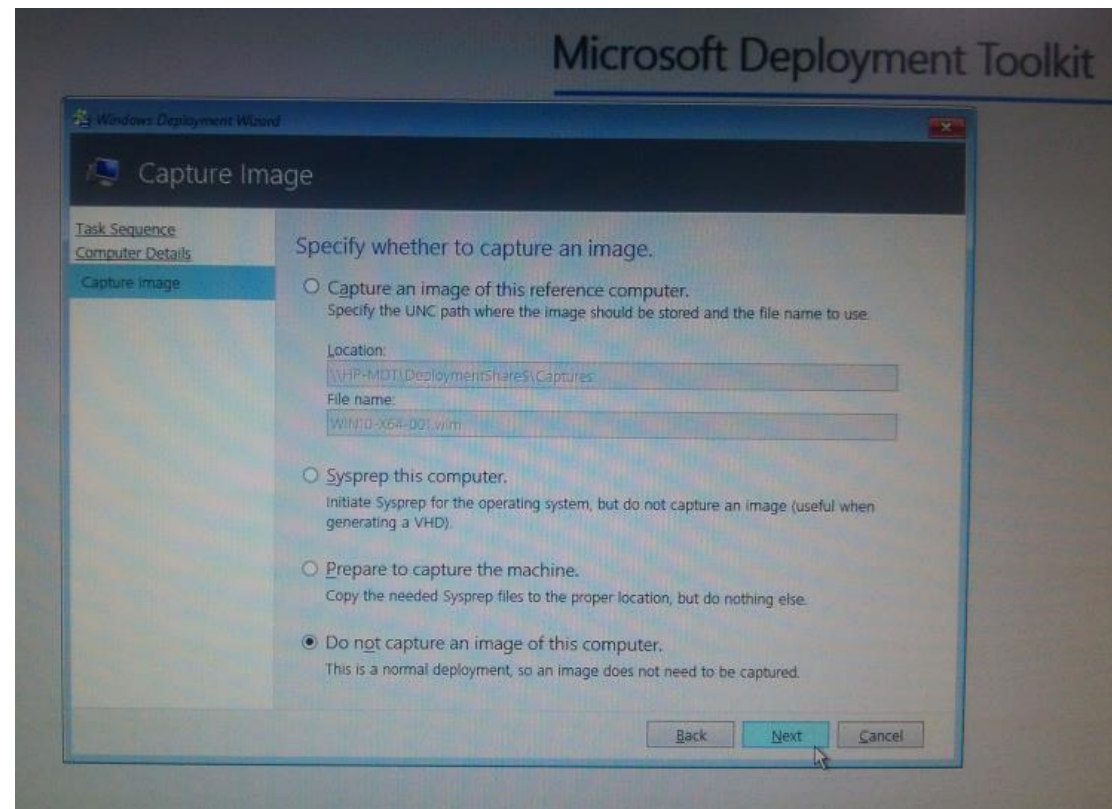
11.Windows展開サービスを使用したWindows 10イメージの展開

12. Computer Details画面ではコンピュータ名を設定し、[Next]をクリックします。



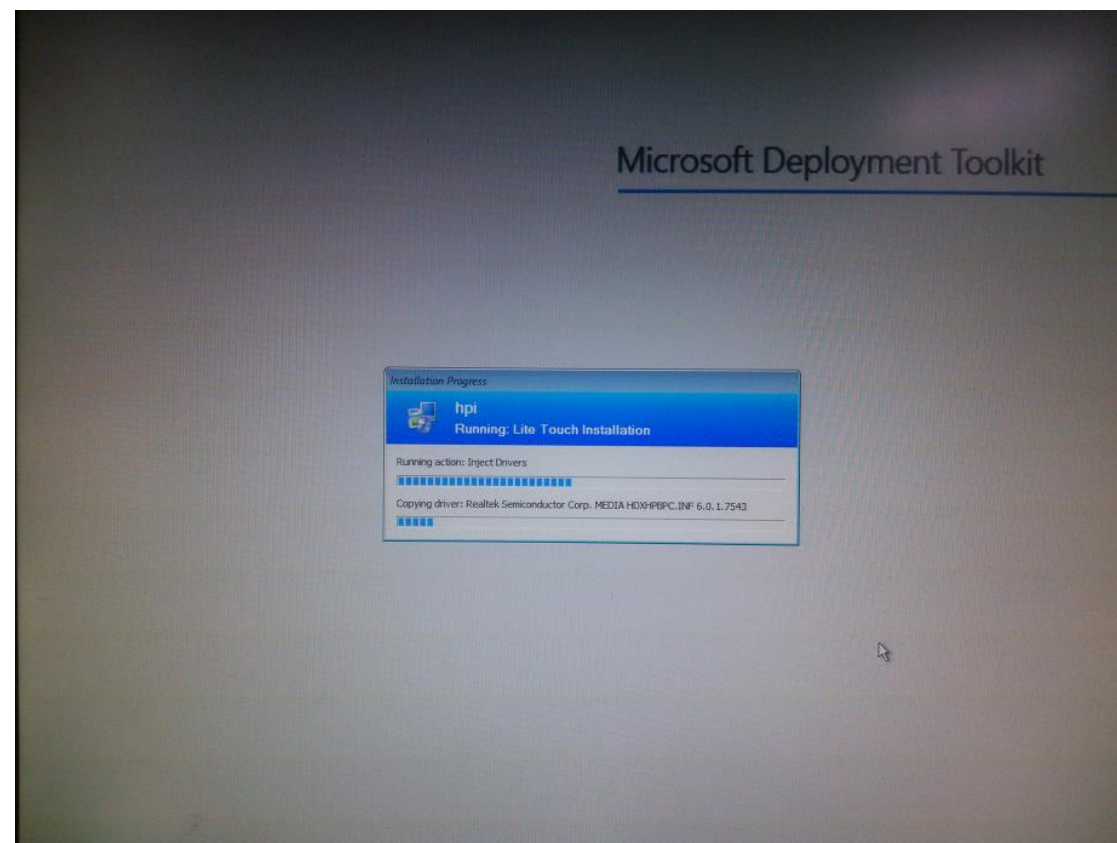
11.Windows展開サービスを使用したWindows 10イメージの展開

13. Capture Image画面では初期設定の[Do not capture an image of this computer]のまま[Next]をクリックします。



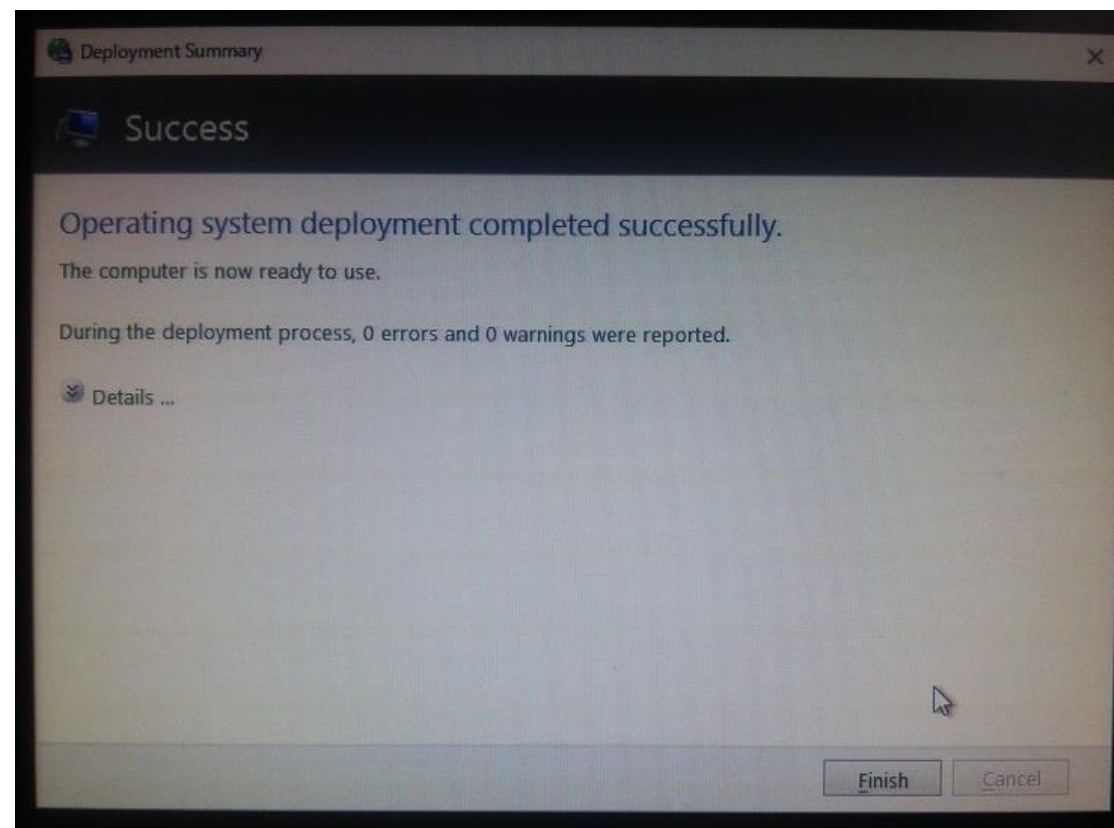
11.Windows展開サービスを使用したWindows 10イメージの展開

14. OSイメージ展開のタスクシーケンスが開始されます。完了までには数10分かかります。



11.Windows展開サービスを使用したWindows 10イメージの展開

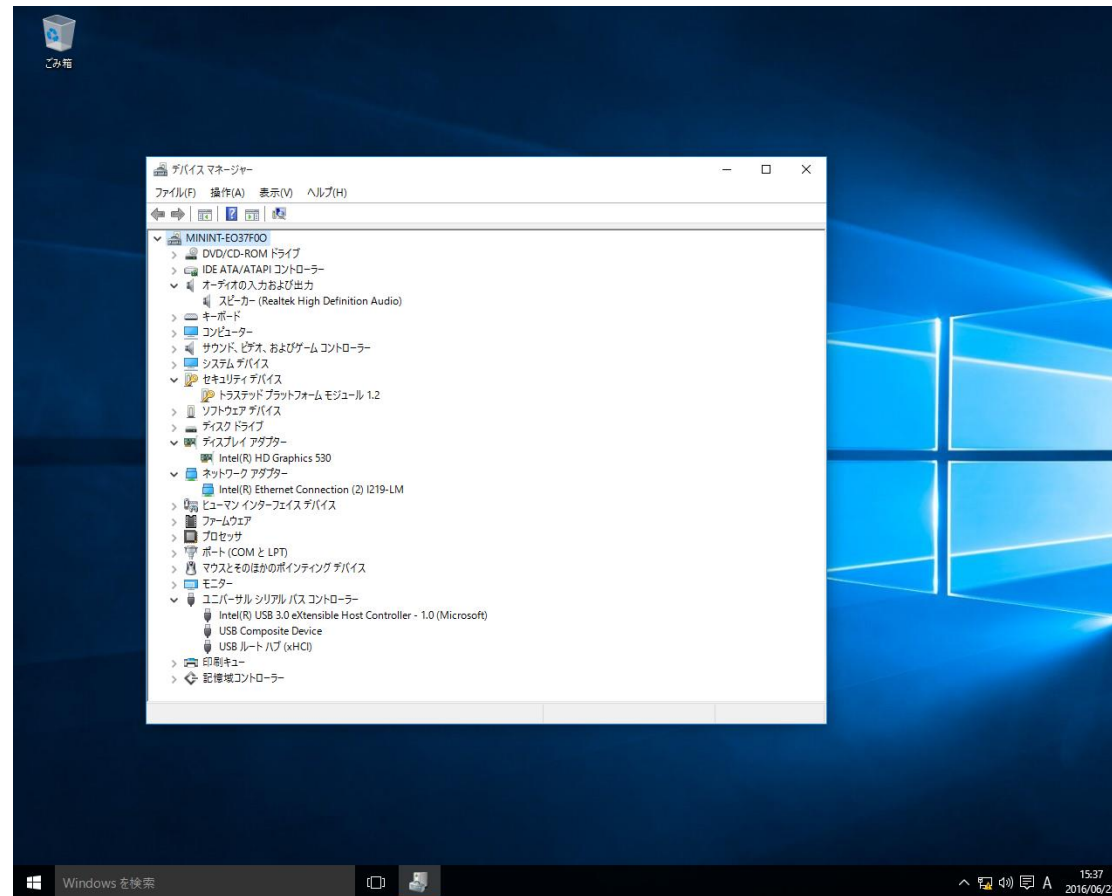
15. Success画面が表示されたら[Finish]をクリックしてタスクシーケンスを終了します。



11.Windows展開サービスを使用したWindows 10イメージの展開

16. Windows 10が起動します。

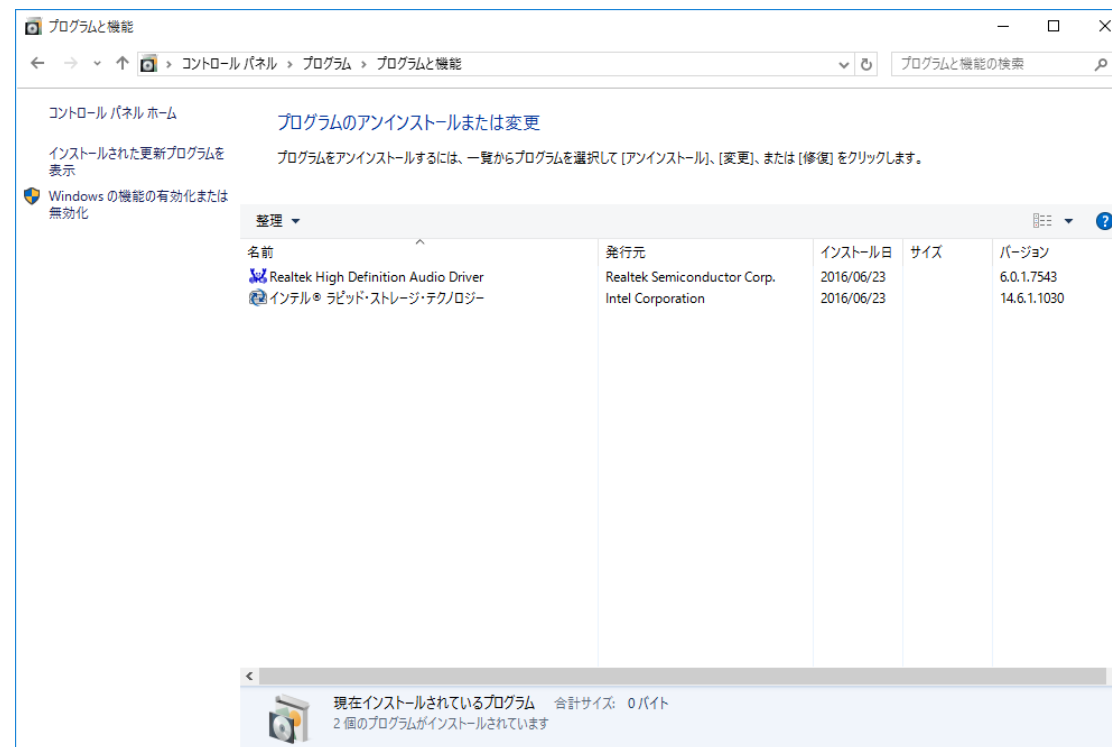
17. デバイスマネージャーを開き、PCのデバイスドライバがインストールされている事を確認します。



11.Windows展開サービスを使用したWindows 10イメージの展開

18. [コントロールパネル]→[プログラムと機能]を開き、追加インストールの設定をしたインテル®ラピッド・ストレージ・テクノロジーがインストールされている事を確認します。

以上でWindows 10イメージの展開は完了です。



Thank you



keep reinventing



keep reinventing